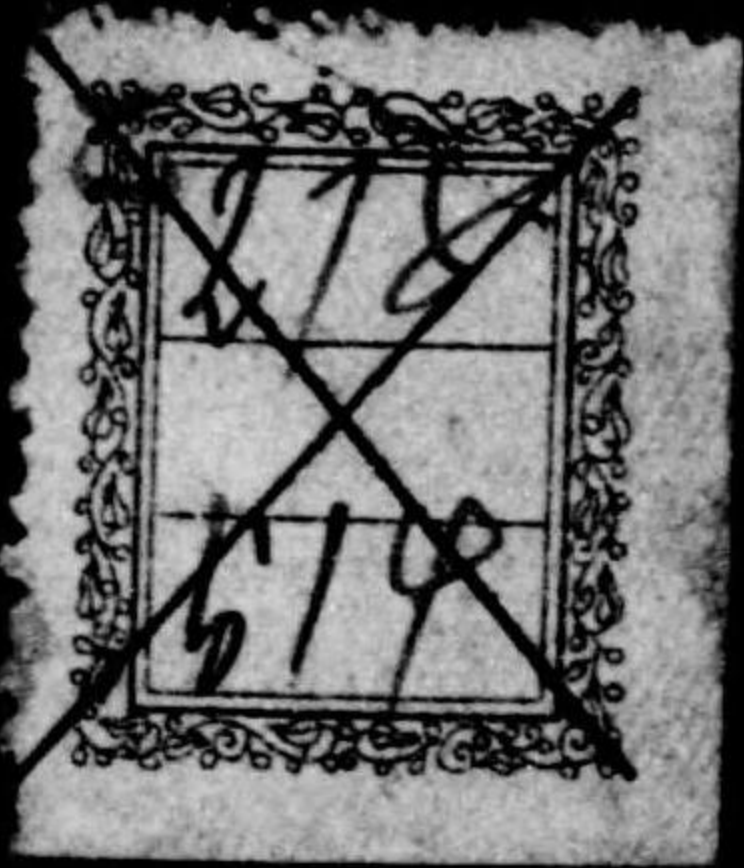


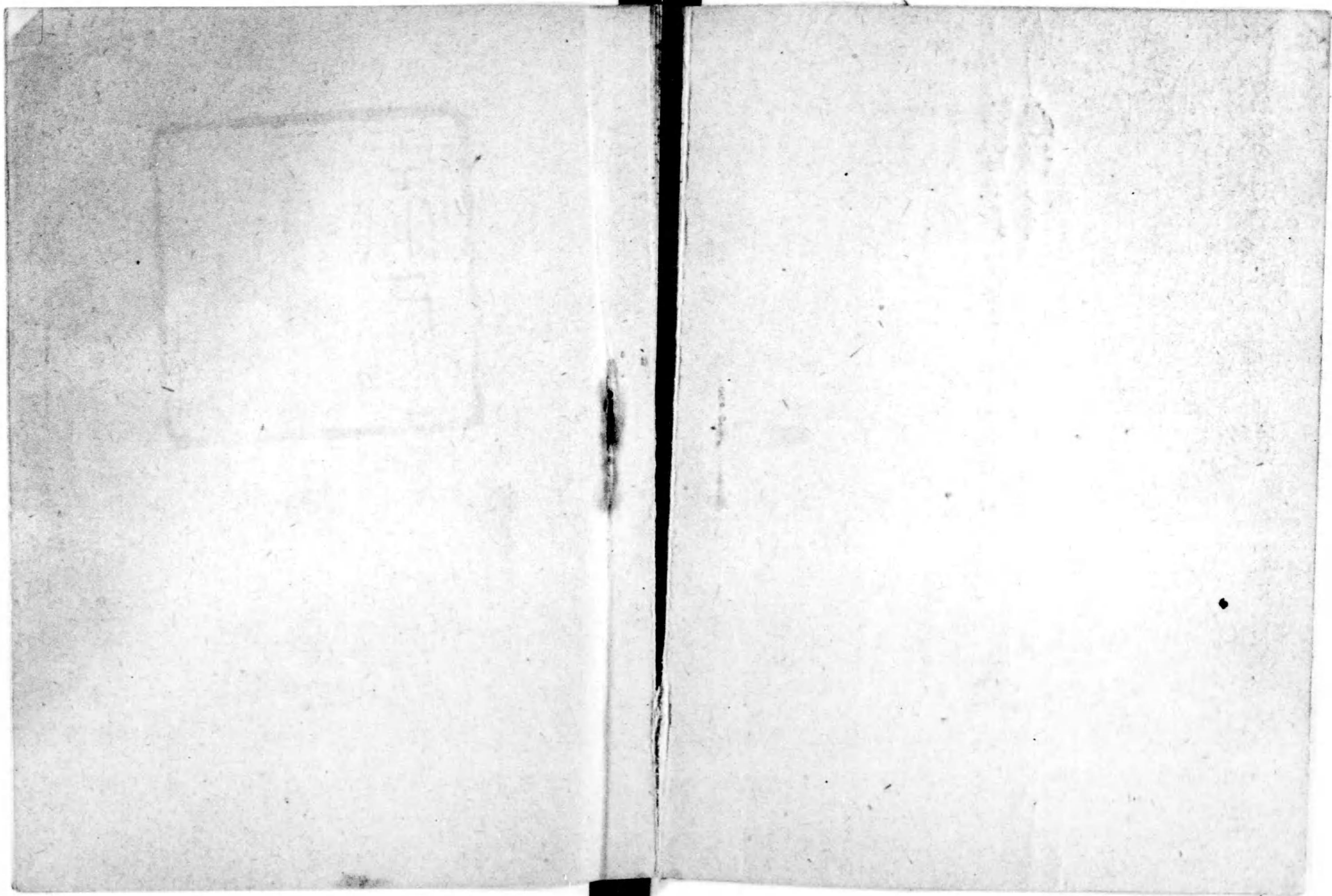
特100

277



始



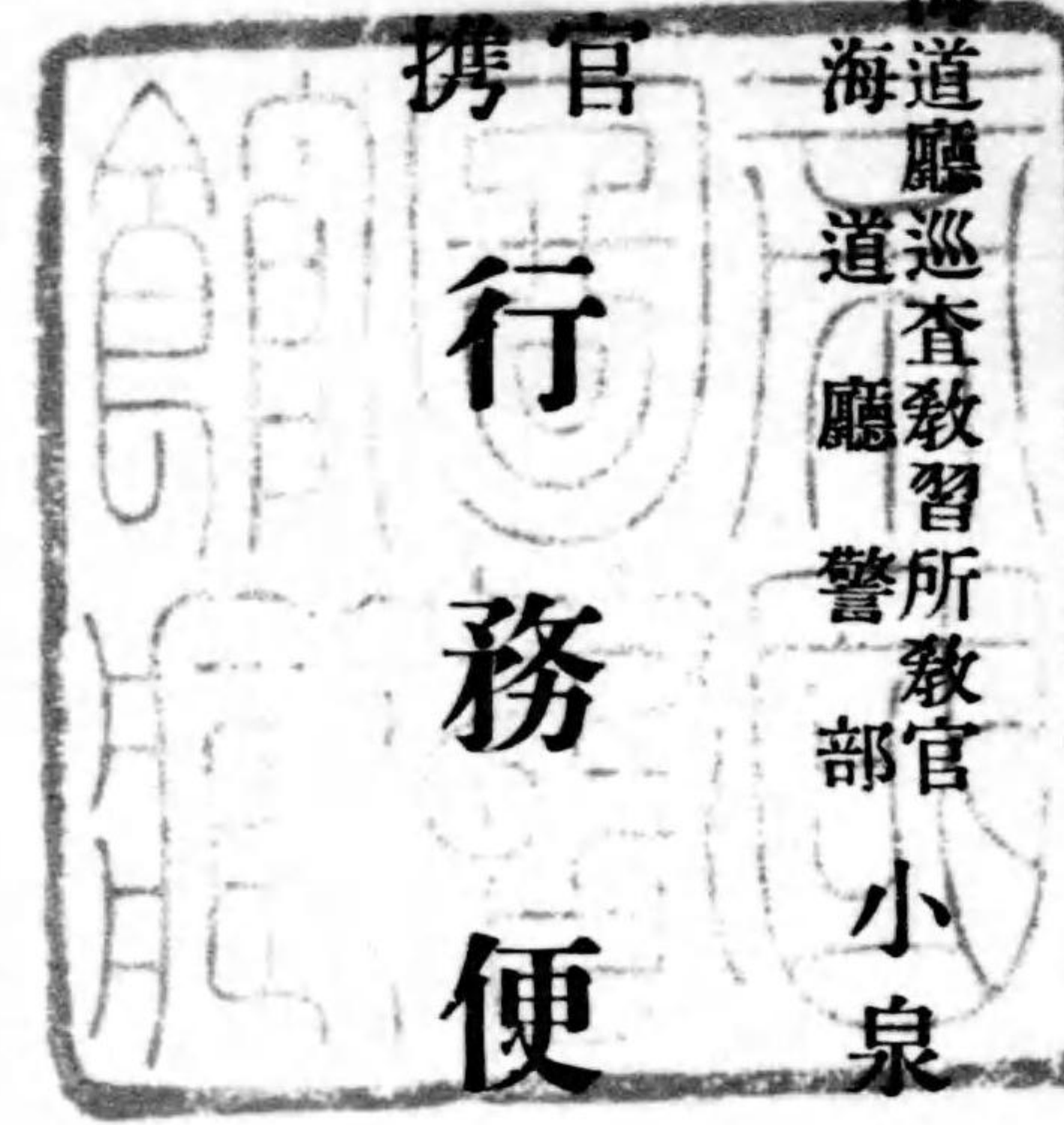


特150
277

北海道廳巡查教習所長 百武泰彦校閱

北海道廳巡查教習所教官 小泉仲三郎著

警官 必携
行務便覽
全



北海道廳巡查教習所



必警携官行務便覽

目次

第壹編	高等及保安警察	一
第一	御肖像ニ關スル件	一
第二	菊御紋章ニ關スル件	一
第三	治安警察法	二
第四	出版物	五
第五	通貨及證券模造	六
第六	精神病者監護法	六
第七	狩獵法	八
第八	遺失物	九
第九	警察犯處罰令	一〇

第十	北海道廳警察罰令	一八
第十一	煙筒	二一
第十二	山野火入	二三
第貳篇	營業警察	二四
第一	古物商	二四
第二	質屋	二六
第三	銃砲火藥類	二九
第四	宿屋	三六
第五	浴場	四〇
第六	雇人口入	四三
第七	勞役者募集紹介	四五
第八	案内業	四七
第九	代書業	四九

第十一	彫刻業	五一
第十一	汽罐汽械	五三
第十二	火工場	五三
第三篇	交通警察	五六
第一	街路	五六
第二	人力車	六五
第三	乘合馬車	六八
第四	荷車	七三
第五	自轉車	七四
第六	自働車	七五
第七	渡船場	七九
第八	人馬繼立	八三
第九	港内	八四

第十	解船業	八
第四篇	風俗警察	九一
第一	廣告物	九一
第二	形像	九三
第三	勳章記章褒章ノ佩用	九四
第四	僧侶托鉢	九四
第五	神社寺院佛堂等參排料觀覽料金並寄附金募集	九五
第六	懸賞又ハ富籤類似射倅行爲	九七
第七	貸座敷及娼妓	九八
第八	藝妓酌婦	一〇〇
第九	妓夫	一〇二
第十	料理屋飲食店	一〇三
第十一	劇場	一〇五

第十二	寄席	一〇六
第十三	諸興行	一〇八
第十四	遊技場	一〇八
第五篇	衛生警察	一一〇
第一	牛乳營業	一一〇
第二	冰雪營業	一一三
第三	清涼飲料水	一一三
第四	賣肉營業	一一四
第五	化製場	一一六
第六	屠場	一一七
第七	斃獸捨場	一一八
第八	胞衣及産穢物埋納	一一九
第九	肥料溜	一二九

第十 鍼術灸術……………一九

第十一 按摩術……………一三〇

第十二 理髮業……………一三一

第十三 飲料水營業……………一三三

第十四 畜犬……………一三四

第十五 塵船營業……………一三五

附 錄……………一三七

法定傳染病ノ症狀特性早解……………一四三

必警携官
行 務 便 覽

第壹篇 高等及保安警察

第壹 御肖像ニ關スル件

(明治二十五年十一月内務大臣訓第七四一號) 同 三十一年十二月内務省訓告

天皇皇族ノ御肖像ハ其尊號御稱號ヲ標記シタルト否トヲ問ス御肖像トシテノ外ハ寫出スルコトヲ得ス且ツ總テ粗造ニ流シ不敬ニ涉ル可ラサル儀ニ注意スルハ勿論特ニ左記各號ニ注意スヘシ

一、御肖像ハ不敬ニ涉ルヘキ場所ニ掲ケ又ハ陳列スルモノナキカ

二、御肖像ハ露店ニ於テ發賣頒布スルモノナキカ

三、御肖像ヲ扇子團扇陶器漆器織物染物其他引札類及翫弄品等ニ寫出シアラサルカ

第貳 菊御紋章ニ關スル件 (明治四年六月告)

菊御紋章及御紋章ニ紛敷品ヲ用ユルモノナキカ

二

第三 治安警察法

(明治三十三年三月
法律第三十六號)

- 一、政事結社ニシテ届出ヲナサス又ハ届出ノ事項ヲ變更シテ其手續ヲ怠ルモノナキカ
- 二、政社以外ノ結社ニシテ密カニ政事行動ヲナスモノナキカ
- 三、政談集會ニシテ規定時間前ニ届出ヲナサルモノナキカ
- 四、屋外集會又ハ屋外運動ニシテ届出ヲナサルモノナキカ
- 五、政談集會ニ女子未丁年者ニシテ會同スルモノナキカ
- 六、政事結社ニ左記各號ノ者加入シアラサルカ
イ、現役及召集中ノ豫後備軍人
ロ、神官神職僧侶其他諸宗教師
ハ、各種學校ノ教員生徒
ニ、女子

ホ、未成年者

ヘ、公權剝奪及停止中ノ者

ト、外國人

- 七、屋外集會又ハ屋外運動ニシテ喧噪紛擾其他公安ヲ害シ又ハ風俗ヲ紊ス等ノ行動又ハ容裝ヲナスコトナキカ
- 八、集會ニ於テ豫審中ニ屬スル事件ヲ講談論議スルコトナキカ
- 九、集會ニ於テ犯罪煽動若ハ曲庇シ又ハ刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷害スルノ談論ヲナスモノナキカ
- 一〇、集會又ハ多衆運動ニ於テ故ラニ喧噪シ又狂暴ニ涉リ妨害ヲナスモノナキカ
- 一一、集會又ハ多衆運動ニ戎器又ハ兇器ヲ携帯スルモノナキカ
- 一二、結社ニシテ其目的又ハ首領社則所在其他ノ行動ヲ秘密ニシア
ルモノナキカ

三

- 一三、街頭其他公衆ノ自由ニ交通スルコトヲ得ル場所(公衆ノ耳目ニ自由ニ觸ル場所ト解ス)ニ於テ文書圖書詩歌等ノ揭示貼紙頒布授受朗讀放吟スル者ニシテ公安ヲ害シ又ハ風俗ヲ紊ス虞アルモノナキカ
- 一四、前項ノ場所ニ於テ言語形容其他ノ作爲ヲナシテ安寧ヲ害シ又風俗ヲ紊スノ虞アルモノナキカ
- 一五、同盟解雇又ハ同盟罷業ヲ爲シ又ハ爲サムトスル者アル片ハ特ニ左記各號ニ注意スベシ
 - イ、勞役ノ條件又ハ報酬ニ關シ相手方ニ承諾ヲ強要スル者ナキカ
 - ロ、他人ニ對シ暴行強迫ヲ加ヘテ同盟ニ加入セシメ又ハ加入セントスル者ヲ妨害スル者ナキカ
 - ハ、他人ニ對シ公然誹毀シ又ハ誘惑煽動シテ同盟ニ加入セシメ又ハ加入セントスル者ヲ妨害スル者ナキカ
 - ニ、前二號ノ手段ヲ以テ勞務者ヲ解雇セシメ又ハ勞務者タラント

スル申込ヲ拒絕セシメ或ハ勞務者ヲ雇傭スルノ申込ヲ拒絕セル者ナキカ

ホ、同盟罷業ヲ遂行センカ爲メ勞務者ヲシテ勞務ヲ停廢セシモノナキカ

第四 出版物 (明治二十六年四月 法律第十五號)

- 一、秘密出版物(第二條ノ届出ヲナサ、ルモノ)ヲ頒布發賣スルモノナキカ
- 二、發賣頒布ヲ禁止セラレタル出版物ヲ店頭ニ陳列シ又ハ露店其他ニ於テ販賣スルモノナキカ
- 三、猥褻ノ圖書其他風俗ヲ紊スノ虞アル出版物ヲ陳列シ又ハ販賣スルモノナキカ
- 四、發行者印刷者著作家ノ住所氏名及發行印刷ノ年月日ヲ明記セザル出版物ヲ販賣スルモノナキカ

五、書簡、通信、報告、社則、塾則、引札諸藝番附諸種ノ用紙證書類及寫眞ハ安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞乱スルモノト認ムルモノ、外出版法ニ依ルヲ要セサルヲ以テ注意スベシ

第五 通貨及證券模造取締(明治二十八年四月法律第二十八號)

一、貨幣、政府發行紙幣、銀行紙幣兌換銀行券國債證券及地方債證券ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノヲ製造又ハ販賣スルモノナキカ

第六 精神病者監護法(明治三十三年三月法律第三十八號)(明治三十六年六月勅令第二十八號)

(明治三十三年六月內務省令第三五號)

- 一、相當ノ手續ヲナサスシテ精神病者ヲ監置スルモノナキカ
- 二、監置ヲ廢止シ其届出ヲ怠リ居ルモノナキカ
- 三、監置室ノ内外殊ニ便所ハ清潔ニナシアルカ
- 四、看護及給養方法行届ケルカ
- 五、被監置者ノ病症ニ應シ相當ノ醫療ヲ加ヘアルカ

- 六、臥具及飲食物其他入浴若ハ運動方法等衛生上支障ナキカ
- 七、拘束ノ程度ヲ加重シ虐待等ヲナサ、ルカ
- 八、擅ニ監置ノ方法場所等ヲ變更シアラサルカ
- 九、假監置ノ方法場所等ヲ變更シアラサルカ
- 一〇、監置精神病者ノ治癒死亡又ハ行衛不明等ノ届出ヲ怠リ居ルモノナキカ

一一、監置室ノ構造設備ハ完全ナルカ

一二、監置場附近ニ火ノ移リ易キモノ又ハ危險ノ虞アルモノナキカ

カ

一三、逃走ノ虞ナキ様相當設備ヲナシアルカ

一四、官廳ノ命令ニ依ル被監置者ヲ擅ニ解放スルヲナキカ

一五、詐僞手段ヲ以テ精神病者ヲ監置許可ヲ受ケタルモノナキカ

一六、監置室ノ鍵ハ一定ノ場所ニ收メ保管シアルカ

第七 狩獵法

(明治三十四年四月法律第三十三號狩獵法) (同年六月農商務省令第七號同法施行規則)

六

- 一、免許狀ヲ携帶セズシテ狩獵ヲナスモノナキカ
- 二、免許狀ヲ他人ニ貸與スルモノナキカ
- 三、爆發物、劇藥、据銃又ハ畏若クハ陷穽ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルモノナキカ

四、左記各號ノ場所ニ於テ狩獵ヲナスモノナキカ

一、御獵場

ロ、禁獵區

ハ、公道

ニ、公園

ホ、社寺境内

ト、墓地

六、右ノ外日出前日没後又ハ市街地人家稠密ノ場所衆人群集ノ場所又

ハ銃丸ノ達スベキ虞アル建物船舶若クハ汽車ニ向テ銃獵ヲナスモノナキカ

五、未成年者ニシテ密カニ銃獵ヲナスモノナキカ

六、免許狀面記載ノ鳥類ヲ捕獲スルモノナキカ

七、學術研究ノ爲鳥獸捕獲又ハ有害鳥獸驅除ノ許可狀携帶者ニシテ

免狀記載以外ノ鳥獸ヲ捕獲シ又ハ數量ヲ超過シテ捕獲スルモノナキ

カ

八、効力ヲ失ヘタル免狀ヲ返納セサルモノナキカ

九、他管内ヨリ轉住シ又ハ轉出シテ届出ヲ怠ルモノナキカ

一〇、學術研究ノ爲鳥獸捕獲又ハ有害鳥獸驅除ノ許可ニヨリ捕獲シ

タル鳥獸ヲ賣買スルモノナキカ

第八 遺失物

(明治三十二年三月法律第八十七號遺失物) (同年四月内務省令第四號同法施行規則)

一、遺失物件ヲ拾得シテ七日以内ニ警察官署へ届出ヲナサルモノ

九

二、管守者アル船舶汽車建築物其他通行ヲ禁シタル構内ニ於テ遺失物ヲ拾得シテ管守者ニ交付セス密カニ持去ルモノナキカ

三、犯罪者ノ置去リタルモノト認ムル物件ヲ拾得シテ届出ヲナサ、ルモノナキカ

四、埋藏物ヲ發見シテ届出ヲナサ、ルモノナキカ

五、遺失物ヲ拾得シテ隱匿又ハ其他不正ノ行爲ヲナスモノナキカ

第九 警察犯處罰令

(明治四十一年九月
內務省令第十六號)

一、故ナク人ノ居住若クハ看守セサル邸宅建造物及船舶内ニ潜伏スルモノナキカ

二、密賣淫ヲ爲シ又ハ其ノ媒合若クハ客止ヲナスモノナキカ

三、一定ノ住居又ハ生業ナクシテ諸方ヲ徘徊スルモノナキカ

四、故ナク面會ヲ強請シ又ハ強談威迫ノ行爲ヲナス者ノナキカ

五、合力喜捨ヲ強請シ又ハ強テ物品ノ購買ヲ求ムルモノナキカ

六、乞丐ヲ爲シ又ハ爲サシムルモノナキカ

七、濫リニ寄附ヲ強請シ又ハ收利ノ目的ヲ以テ強テ物品入場券等ヲ

配付スルモノナキカ

八、入札ノ妨害ヲナシ共同入札ヲ強請シ若クハ落札人ニ對シ其事業

又ハ利益ノ分配若クハ金品ヲ強請スルモノナキカ

九、他人ノ事務ニ對シ惡戯又ハ妨害ヲ爲スモノナキカ

一〇、新聞紙雜誌其他ノ方法ヲ以テ誇大又ハ虛偽ノ廣告ヲ爲シ不正

ノ利ヲ圖ルモノナキカ

一一、新聞紙雜誌其他ノ出版物購讀又ハ廣告掲載ニ付キ強テ其申込

ヲ求ムルモノナキカ

一二、申込ナキ新聞紙雜誌其他ノ出版物ヲ配付シ又ハ申込ナキ廣告

ヲナシ其代料ヲ請求スルモノナキカ

- 一三、祭事祝儀又ハ其行列ニ對シ惡戯又ハ妨害ヲ爲スモノナキカ
- 一四、自己占有ノ場所内ニ老幼不具又ハ疾病ノ爲メ扶助ヲ要スル者若ハ人ノ死屍死胎アルコトヲ知リテ速カニ警察官吏ニ申告セサルモノナキカ
- 前項ノ死屍死胎ニシテ警察官吏ノ指揮ナキニ其現場ヲ變更シタルモノナキカ
- 一五、公衆ノ自由ニ交通シ得ル場所ニ於テ喧噪シ横臥シ又ハ泥酔シテ徘徊スルモノナキカ
- 一六、公衆ノ自由ニ交通シ得ル場所ニ於テ危險ノ虞アル片點燈其他豫防ノ装置ヲナス義務ヲ怠ルモノナキカ
- 一七、劇場寄席其他公衆會同ノ場所ニ於テ會衆ノ妨害ヲナスモノナキカ
- 一八、雜沓ノ場所ニ於テ制止ヲ肯セス混雜ヲ増スノ行爲ヲナスモノナキカ

ナキカ

- 一九、人ヲ誑惑セシムヘキ流言浮説又ハ虚報ヲナスモノナキカ
- 二〇、妄リニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符呪等ヲ爲シ若クハ守札類ヲ授與シテ人ヲ惑シムルモノナキカ
- 二一、病者ニ對シ禁厭祈禱符呪等ヲ爲シ又ハ神符神水等ヲ與ヘ醫療ヲ妨クルモノナキカ
- 二二、濫リニ催眠術ヲ施スモノナキカ
- 二三、官職位記勳爵學位ヲ詐リ又ハ法令ノ定ムル服飾徽章ヲ借用シ若クハ之ニ類似ノモノヲ使用スルモノナキカ
- 二四、官公署ニ對シ不實ノ申述ヲナシ又ハ其義務アル者ニシテ故ナク申述ヲ肯セサルモノナキカ
- 二五、河川溝渠又ハ下水路ノ疏通ヲ妨クヘキ行爲ヲナスモノナキカ
- 二六、自己又ハ他人ノ身体ニ刺文ヲシタルモノナキカ

- 二七、出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入スルモノナキカ
- 二八、官公署ノ榜示シ若クハ官公署ノ指揮ニ依リ榜示セル禁條ヲ犯シ又ハ其設置ニ係ハル榜標ヲ汚瀆シ若クハ撤去シタルモノナキカ
- 二九、水火災其他ノ事變ニ際シ制止ヲ肯セスシテ其現場ニ立入り若クハ其場所ヨリ退去セス又ハ官吏ヨリ援助ノ求メヲ受タルニ拘ラヌ傍觀シテ之ニ應セサル者ナキカ
- 三〇、濫リニ他人ノ標燈又ハ社寺道路公園其他ノ公衆用ノ常燈ヲ消スモノナキカ
- 三一、他人ノ田野園圃ニ於テ菜果ヲ採摘シ又ハ花卉ヲ採折スルモノナキカ
- 三二、使用者ニシテ勞役者ニ對シ故ナク其自由ヲ妨ケ又ハ苛酷ノ取扱ヲナスモノナキカ

- 三四、他人ノ身体物件又ハ之ニ害ヲ及ホスヘキ場所ニ對シ物件ヲ抛澆シ放射スルモノナキカ
- 三五、神祠佛堂禮拜所墓所碑表形像其他之ニ類スルモノヲ汚瀆スルモノナキカ
- 三六、人ノ死屍又ハ死胎ヲ隱匿シ又ハ他物ニ紛ハシク擬裝ヲナスモノナキカ
- 三七、一定ノ飲食物ニ他物ヲ混シテ不正ノ利ヲ圖ルモノナキカ
- 三八、不熟ノ果物腐敗ノ肉類其他健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ營利ノ用ニ供スルモノナキカ
- 三九、濫リニ他人ノ繫キタル舟筏牛馬其他ノ獸類ヲ解放スルモノナキカ
- 四〇、許可ナク人ノ死屍又ハ死胎ヲ解剖シ又ハ之レカ保管ヲナスモノナキカ

- 四一、公衆ノ目ニ觸ルベキ場所ニ於テ祖褻裸裎シ又ハ臀部股部ヲ露
ハシ其他醜態ヲナスモノナキカ
- 四二、街路ニ於テ放尿ヲ爲シ又ハ爲サシムルモノナカ
- 四三、濫リニ銃砲ノ發射ヲナシ又ハ火藥其他ノ劇發スヘキ物ヲ玩ヲ
モノナキカ
- 四四、家屋其他ノ建造物若ハ引火シ易キ物ノ近傍又ハ山野ニ於テ濫
ニリニ火ヲ焚クモノナキカ
- 四五、石灰其他自然發火ノ虞アル物ノ取扱ヒヲ忽ニスルモノナキカ
- 四六、開業醫師產婆故ナク病者又ハ妊婦產婦ノ招キニ應セサルモノ
ナキカ
- 四七、故ナク官公署ノ召喚ニ應セサルモノナキカ
- 四八、炮煮洗滌剝皮等ヲ要セス其儘食用ニ供スヘキ飲食物ニ覆蓋ヲ
設ケス店頭ニ陳列スルモノナキカ

- 四九、濫リニ禽獸ノ死屍又ハ汚穢物ヲ棄擲シ又ハ之レカ取除ノ義務
ヲ怠ルモノナキカ
- 五〇、監置ニ係ハル精神病者ノ監護ヲ怠リ屋外ニ徘徊セシムルモノ
ナキカ
- 五一、濫リニ犬其他ノ獸類ヲ吠シ又ハ驚逸セシムルモノナキカ
- 五二、公衆ノ目ニ觸ルヘキ場所ニ於テ牛馬其他ノ動物ヲ虐待スルモ
ノナキカ
- 五三、狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ逸走セシムルモノナキカ
- 五四、濫リニ他人ノ家屋其他ノ工作物ヲ汚瀆シ若クハ之ニ貼紙ヲ爲
シ又ハ他人ノ標札招牌賣貸家札其他ノ榜標ノ類ヲ汚瀆シ若クハ撤
去スルモノナキカ
- 五五、橋梁又ハ堤防ヲ損壞スルノ虞アル場所ニ舟筏ヲ繫キタルモノ
ナキカ

五六、通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ此ニ牛馬諸車ヲ牽入レルモ
正ノナキカ

五七、前各號ノ行爲ヲ教唆シ又ハ幫助スルモノナキカ

第十 北海道廳警察罰令 (明治四十三年十月 廳令第七九號)

一、妄ニ官公署ノ名ヲ利用スル者ナキカ

二、法令ノ規定ニ依ラス訴訟其他ノ紛議ニ關シ報酬ヲ受ケ若クハ之
ヲ受クルノ目的ヲ以テ紹介鑑定代理和解仲裁又ハ之ニ類ル行爲ヲ

ナス者ナキカ

三、賭博類似ノ行爲ヲナス者ナキカ

四、濫リニ客引ヲ爲シ又ハ故ナク人ヲ宿屋料理屋飲食店貸座敷口入
業者其他ノ場所ニ誘致スルモノナキカ

五、住所身分職業氏名年齢ヲ詐稱シ投宿シ乗船シ又ハ貸座敷ニ登リ
若クハ雇傭セラル、モノナキカ

六、故ナク密賣淫又ハ賭博ノ常習者ヲ寄寓セシムル者ナキカ

七、故ナク他人ノ邸宅ヲ透見スルモノナキカ

八、私有地外ニ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シ若シクハ草木
ヲ播植スルモノナキカ

九、濫リニ鬪鷄ヲナサシムルモノナキカ

一〇、勞務ノ種類其他ノ條件ヲ詐リテ勞務者ヲ募集又ハ雇傭シ若ク
ハ募集雇傭ノ周旋ヲナスモノナキカ

一一、警察官署ノ督促ヲ受ケテ煙筒火焚場便所塵芥溜ノ掃除又ハ下
水汚水溜ノ浚渫ヲ爲サ、ルモノナキカ

一二、警察官署ノ督促ヲ受ケテ家屋其他ノ工作物ニ對シ危險豫防ノ
施設ヲ爲サ、ルモノナキカ

一三、生河豚ノ内臟ヲ除去洗滌セスシテ之ヲ販賣又ハ授受スルモノ
ナキカ

ナキカ

- 一四、新聞雜誌其他ノ著作物ヲ讀賣スルモノナキカ
- 一五、測量標其他ノ標識ニ獸畜舟筏ヲ繫クモノナキカ
- 一六、通行人ニ對シ惡戯又ハ嫌忌スヘキ言行ヲ爲スモノナキカ
- 一七、制止ヲ肯セスシテ爭論シ又ハ夜間十二時後歌舞音曲ヲ演スルモノナキカ
- 一八、河川溝渠下水人家接續ノ地ニ沿ヒタル海岸若ハ他人ノ邸宅田野園圍其ノ他公衆ノ自由ニ交通シ得ル場所ニ竹木瓦礫氷雪塵芥等ヲ投棄スルモノナキカ
- 一九、牛馬羊豚ノ看守ヲ怠リ他人ノ邸宅田野園圍ニ入ラシメ又ハ墻壁欄柵等ノ設ナクシテ之カ放牧ヲナスモノナキカ
- 二〇、街路又ハ鐵道線路ニ沿ヒタル屋根物干手摺等ニ襤褸其他見苦シキ物品ヲ露出シ撤去ノ注意ニ應セサルモノナキカ
- 二一、公衆ノ目ニ觸ルヘキ場所ニ於テ牛馬其他ノ動物ヲ交尾セシム

ルモノナキカ

- 二二、公衆 飲料ニ供スル井戸ハ瀦水其他水道共用栓附近ニ於テ汚穢物ヲ洗滌スルモノナキカ
 - 二三、制止ヲ肯セスシテ電線路ニ沿ヒタル場所ニ於テ紙鳶ヲ弄ヒ又ハ弄ハシメルモノナキカ
 - 二四、四歳未滿ノ幼者ノ看護ヲ怠リテ街路其他危險ノ場所ニ獨歩セシムルモノナキカ
 - 二五、本令ノ違反行爲ヲ教唆シ又ハ幫助スルモノナキカ
- 第十一 煙筒取締 (大正二月一月 廳令第三號)
- 一、營業用ニ供スル火焚場ノ煙筒ニシテ使用前検査ヲ受ケサルモノナキカ
 - 二、左記各號ノ制限ニ適合セサル煙筒ヲ使用スルモノナキカ
 - イ、煙筒ハ石材煉瓦土管鐵管鐵板等ノ不燃質物ヲ以テ築造シアル

- カ、煙筒ヲ屋上又ハ屋側ニ出スルハ營業用火焚場ノモノニアリテハ其高サ屋根ヨリ十尺以上自家用ノモノニアリテハ五尺以上アルカ
- ハ、煙筒ヲ屋外ニ建設スルルハ其高サ地盤ヨリ三十尺以上アルカ
- ニ、製造所工場ニ於テ使用スル煙筒ノ高サハ屋上ヨリ二十尺以上地盤ヨリ五十尺以上アルカ
- ホ、煙筒カ屋根壁若クハ天井等ヲ貫通セル箇所ハ不燃質物ヲ以テ危険豫防ノ装置ヲナシアルカ
- ヘ、煙筒カ軒先壁若クハ天井等ヲ距ル一尺以内ノルハ其煙筒ニ接近スル箇所ハ不燃質物ヲ以テ装置シアルカ
- ト、煙筒ニハ構造ノ如何ニヨリ適當ナル支柱支線其他ノ支持物ヲ設ケアルカ

- 三、煙筒ハ左ノ區別ニ從ヒ掃除ヲナシ居ルカ
 - イ、營業用火焚場ノモノハ毎月三回以上
 - ロ、自家用ノモノハ毎月二回以上
 - 四、煙筒ノ附近ニ燃燒シ易キ物件ヲ堆積シ又ハ噴煙ノ障害トナル行爲ヲナスモノナキカ
 - 五、煙筒ニ薪炭等燃燒ノ儘掃除スルモノナキカ
 - 六、煙筒ニシテ破損又ハ崩壊顛仆墜落等危険ノ虞アルモノナキカ
 - 七、破損シタル煙筒ノ修繕ヲ怠ルモノナキカ
- 第十二 山野火入取締(明治二十一年五月 廳令第四〇號)
- 一、山野牧場及開墾地ニ許可證ヲ携帯セシテ火入ヲナスモノナキカ
 - 二、火入ヲナスモノハ其ノ隣接地所有者ニ三日以前ニ通報ヲナスヲ怠ルモノナキカ
 - 三、火入施行ノ山野ニシテ森林ニ隣接シタルケ所ハ幅三間以上ノ防

- 一、火線ヲ設ケアルカ
- 二、風勢穩ナラサル時又ハ夜間火入施行ノ際ハ嚴重ナル豫防又ハ延焼又ハ飛火ヲ直ニ消滅セシムヘキ手配ヲ爲シアルカ
- 三、火入中ハ番人ヲ附シアルカ又番人ニシテ檀ニ其場ヲ立去リ看守ヲ怠ルモノナキカ

第二編 營業警察

第一 古物商

參照法規

明治二十八年法律第三十八號古物商取締法同年七月內務省令第八號古物商取締法細則同年八月廳令第五十六號古物商取締法令施行規則同年八月訓第二四五號同法取扱手續

- 一、無免許ニテ營業ヲナス者ナキカ
- 二、營業者住所氏名ノ詳ナラサル者ヨリ物品ヲ買ヒ受ケ讓受ケ又ハ交換スルコトナキカ
- 三、密カニ遺失物若クハ贓物ヲ取扱フコトナキカ

- 四、營業者又ハ家族雇人ニシテ行商鑑札ナク行商スルモノナキカ
- 五、營業者又ハ家族雇人ニシテ露店鑑札ヲ携帯セサルモノナキカ
- 六、店舗以外ニ於テ刀劍類ヲ賣買交換シ又ハ許可以外ノ物品ヲ取扱フコトナキカ
- 七、傳染病毒ニ汚染シタル物品ニシテ未消毒ノモノナキカ
- 八、警察官署ノ品觸寫書ニ到達月日ヲ記入シテ三年間保存セサルモノナキカ
- 九、物品買受讓受帳物品賣渡讓渡帳物品預リ受帳ハ所轄警察官署ノ檢印ヲ受ケアルカ
- 一〇、諸帳簿記入ノ品目ト現品ト符合シアルカ
- 一一、帳簿ニ記入セスシテ密ニ賣買交換スルモノナキカ
- 一二、染物、古着、袋物、飾商、時計商ヲ兼業シ贓物ノ形狀模様紋章徽章等ヲ變換シテ賣買交換スルモノナキカ

- 一三、他人ノ名儀ヲ以テ營業ヲ營ミ居ルモノナキカ
 - 一四、行商露店鑑札ヲ他人ニ貸與スルモノナキカ
 - 一五、行商人カ營業者以外ノ者ヨリ途上物品ヲ買取ルモノナキカ
 - 一六、性質不良前科者又ハ身分不相應ノ物品ヲ賣渡シタル者アラハ其者ノ行動ヲ調査スヘシ
 - 一七、營業種目及鑑札面ノ異動ハ相當期間内ニ届出アルカ
- 第二 質屋

參照法規

明治二十八年三月法律第十四號質屋取締法同年七月内務省令
 第九號質屋取締法細則同年八月廳令第五十七號質屋取締法令
 施行規則同年同月訓第二四六號同法取扱手續

- 一、無免許ニテ質屋營業ヲナス者ナキカ
- 二、店頭見易キ場所ニ左ノ事項ヲ揭示シアルカ
- 三、利子割合
- 四、流質期限

- 一八、質物ノ災難ニ罹リタルトキノ處辨方
- 一九、質物出入時間
- 二〇、左ノ制限ノ利子ノ外金錢ヲ收受シアラサルカ
- 二一、貳拾五錢以下ハ一ヶ月金壹錢
- 二二、壹圓以下ハ一ヶ月百分ノ四
- 二三、五圓以下ハ一ヶ月百分ノ三
- 二四、拾圓以下ハ一ヶ月百分ノ二半
- 二五、質札又ハ質通帳ヲ交付スルカ
- 二六、帳簿ニ質契約ニ關スル事項ノ記載アルカ
- 二七、住所氏名ノ詳ナラサル者ヨリ質取セサルカ
- 二八、犯罪ノ嫌疑アル物品若クハ遺失物ト認ムルモノヲ質取ルコトナ
- 二九、質物臺帳及流質物處分帳ハ所轄警察官署ノ檢印ヲ受ケアルカ

- 九、質物臺帳ノ記載方粗漏ノモノナキカ
- 一〇、臺帳ニ記載セス密カニ質取スルコトナキカ
- 一一、臺帳ト現品ト照合シ其ノ整否ヲ檢スヘシ
- 一二、贓品ノ特徴ヲ記憶シ置キ現品照合ノ際被害品ノ發見ニ努ムヘシ
- 一三、店舗外ニ於テ質取引ヲ爲スコトナキカ
- 一四、傳染病毒ニ汚染シタル物品ニシテ未消毒ノモノアラサルカ
- 一五、質物ヲ他ニ貸シ付ケ或ハ使用スルモノナキカ
- 一六、贓品ノ品觸寫書ニ到達年月日ヲ記入シ三ケ年間保存シアルカ
- 一七、質物處分帳ニ記載セル處分年月日品目ト質物臺帳ノ事項ト符合シアルカ
- 一八、無許可ニテ營業用帳簿ヲ廢棄スルコトナキカ
- 一九、俗ニ質使ト稱スル者ノ名ニテ入質セルモノハ其何人ノ依頼ヲ

受ケタルヤ調査スヘシ

- 二〇、質使等カ住所氏名ノ詳ラナラサル者ノ依頼ヲ受ケ物品ノ入質ヲナシ居ラサルカ
- 二一、性行不良前科者又ハ身分不相應ノ物品ヲ入質シタルトキハ其正ノ者ノ行動ヲ調査スヘシ
- 二二、營業代理人又ハ雇人ニシテ禁停止處分中ノ者アラサルカ
- 二三、他人ニ名義ヲ貸シテ營業ヲナサシムル者アラサルカ
- 二四、店舗ノ移轉營業者及後見人ノ族籍住所氏名ノ異動管理人ノ變更届出ハ規定期間内ニナシアルカ

第三 銃砲火藥類

四 火藥類 參照

明治四十三年四月法律第五十三號銃砲火藥類取締法同四十四年三月
 勅令第十六號銃砲火藥類取締法施行規則同年三月內務省令第二號銃
 砲火藥類取締法細則同四十五年廳令第一號同法令取扱規則

- 一、無免許ニテ銃砲又ハ火藥類ノ製造又ハ販賣ヲナスモノナキカ
- 二、銃砲營業者ニシテ軍用銃砲ヲ製造スルコトナキカ

三、火藥類營業者ニシテ軍用火工品ノ製造變形又ハ修理スルモノナ
キカ

四、火藥類營業者ニシテ其店舗ニ爆發火藥又ハ左ノ數量ヲ超過シタ
ル火藥類ヲ置カサルカ

イ、火藥一貫三百匁以内

二ロ、銃用實包千箇以内

二ハ、銃用空包千箇以内

二三、銃用實包又ハ銃用空砲ニ要
スル雷管又ハ雷管附藥莖 二千箇以内

五、火藥類ニ付テハ左記各號ニ注意スヘシ

二イ、火藥及導火線ハ木器亞鉛器銅器但シ少量火藥ニ限リ白鐵葉器
ニ收納スルコトヲ得

二ロ、火工品(導火線ヲ除ク)ハ木器、亞鉛器、銅、白鐵葉器、厚紙製
罐ニ收容シアルカ

一ハ、爆藥及無煙火藥ハ酸類鹽氣類ヲ含有セサル紙又ハ布ヲ以テ包
ミ之ヲ木器又ハ亞鉛器ニ收納シアルカ

二、綿火藥「ダイナマイト」ノ類ハ青色試験紙ヲ共ニ容器ニ收納シ
アルカ

ホ、火藥類ハ容器ニ直接觸接セサル爲メ紙澁紙若クハ布ヲ以テ隔
絶シアルカ

六、火藥類ヲ普通油紙ヲ以テ包被シ置カサルカ

七、火藥庫倉庫及假貯藏所ニハ左ノ數量ヲ超過スル火藥類ヲ貯藏シ
アラサルカ

八アラサルカ

火藥類ノ種類	貯藏所ノ種類	火藥庫倉	庫	假貯藏所
火藥	火藥	一萬貫	二十貫	五千貫
爆藥	爆藥	五千貫	三千貫	二千五百貫
銃用實包	銃用實包	二千箇	三萬箇	一千萬箇

銃用空包	二千	筒	三	筒	千	筒
銃用雷管	千	筒	十	筒	五	筒
工業用雷管	六	筒	一	筒	三	筒
信管	無	筒	三	筒	無	筒
管	無	筒	三	筒	無	筒
管	無	筒	三	筒	無	筒
門	無	筒	三	筒	無	筒
管	無	筒	三	筒	無	筒
無	無	筒	三	筒	無	筒
制	無	筒	三	筒	無	筒
限	無	筒	三	筒	無	筒

八、火藥類ハ左ノ區別ニ從ヒ各別庫ニ貯藏セラル、カ

イ、有烟火藥、有煙火藥ヲ裝填シタル銃用實包銃用空包及有煙火

六、藥ノミ裝填シタル其火工品

ロ、無煙火藥、無煙火藥ヲ裝填シタル銃用實包銃用空包及無煙火

藥ノミヲ裝填シタル其他ノ火工品

ハ、爆藥

ニ、火工品

九、火藥庫及假貯藏所ニ他ノ物品ヲ貯藏スルコトナキカ

一〇、火藥貯藏所ニ火藥類ヲ貯藏スルニ内壁ヨリ一尺以上ヲ隔テ下

部ニハ高サ三寸ノ枕木ヲ置キ其ノ上ニ容器ヲ積上ケアルカ

一一、火藥庫假貯藏所ノ内部ニ鐵類又ハ石瓦類ヲ露出シアラサルカ

一二、周圍ノ土堤ハ一間以上ノ距離ヲ保チ庫ノ屋頂ト同一以上ノ高

サヲ有シ頂面ハ三尺以上ノ厚サヲ保チ且ツ表面ハ芝草類ニテ被覆

シアルカ

一三、避雷針ハ破損又ハ鍍金部分剝離又ハ錆蝕シアラサルカ

一四、貯藏所内へ安全燈以外ノ燈火ヲ携へ入ルコトナキカ

一五、貯藏所へ靴又ハ土足ノ儘立入り又ハ荷造荷解ヲナシ或ハ鐵類

若クハ鐵類ヲ附着シタル器具ヲ携帯シテ立入ルコトナキカ

一六、貯藏所内ニ入ルトキハ必ス戶外ニ於テ塵埃ヲ拂ヒ且ツ上草履

ヲ穿ツコトヲ要ス違反者ナキカ

一七、貯藏所ノ錠前ハ堅固ニシテ盜難ノ虞ナキカ

一八、火藥類ヲ運搬スルトキハ左ノ數量ヲ超過スルトキハ警察官署

- ノ許可ヲ受ケ許可證ヲ携帯スヘキ筈ニ付違反者ナキカハ警察官等
- イ、火藥十二貫以上
- ロ、爆藥三貫以上
- ハ、銃用實包三万箇以上
- ニ、銃用空包三万箇以上
- ホ、銃用雷管十万箇以上
- ヘ、工業用雷管一万箇以上
- ト、信管爆管 三万箇以上
- 一九、火藥類ヲ牛馬車ニテ運搬スルトキハ赤地ニ火藥ノ二字ヲ白書シタル小旗ヲ立テ看守人ヲ附シ尙ホ火氣ニ注意シ休泊ノ時ハ安全ナル場所ヲ選フコトヲ要ス違反者ナキカ
- 二〇、看守人及運搬人ハ安全燈ノ外燐寸其他發火ノ虞レアル物件ヲ携帯シ又ハ荷物ニ接近シテ喫烟シ若クハ火氣ヲ取扱フコトヲ得ス

違反者ナキカ

- 二一、左記火藥類ハ所轄警察官署ノ許可ヲ受クルニアラサレハ日出前日没後授與荷造荷解荷積荷卸ヲナスコトヲ得ス違反者ナキカ
- イ、火藥一貫三百匁以上
- ロ、銃用實包千箇以上
- ハ、銃用空包千箇以上
- ニ、銃用實包又ハ銃用空包ニ要スル雷管又ハ雷管附藥莖 二千箇以上
- 二二、火藥商ニシテ許可證ナキ者又ハ狩獵法ニ依ル免許證ヲ携帯セサル者ニ又ハ許可ノ効力ヲ失ヒタル者ニ讓與スルノ疑ナキカ
- 二三、銃砲商ニシテ拳銃短銃又ハ仕込銃及軍用銃砲ヲ許可ナキモノ又ハ未成年者ニ讓與スルノ疑ナキカ
- 二四、銃砲火藥類ノ賣買讓與授受等明確ニ帳簿ニ記載セラレ且現品ト符合シアルカ

- 二五、銃砲火藥類營業者一ヶ月間取引シタル銃砲火藥類ノ種類數量並ニ各種月末現在高ヲ翌月十日マテ並ニ一ヶ月間ニ受取リタル許可證ヲ警察官署ニ届出ツルヲ怠ルモノナキカ
- 二六、銃砲火藥類ヲ行商シ又ハ露店市場其他屋外ニ於テ販賣授受交換等ナスモノナキカ

第四 宿 屋

參照

明治三十二年七月内務省令第三十二號宿泊其他ノ件同年八月廳令第六十七號宿屋取締規則同年九月訓第五一九號宿屋取締規則ニ依ル雇人臺帳及免許鑑札様式ノ件

- 一、無免許ニテ營業ヲナスモノナキカ
- 二、營業主ニ異動ナキヤ例ハ他人ノ名義ヲ以テ營業スルモノナキカ
- 三、宿屋ノ種類ヲ明記シタル看板ヲ掲出シアルカ
- 四、夜間標燈ヲ點火セサルモノナキカ

五、宿引ヲ出シ客ヲ誘引シ又ハ濫リニ手荷物等ニ接觸スルコトナキカ

六、客ヲ誘引シ來タルモノ殊ニ車夫等ニ對シ金錢物品等ヲ給與シテ此等ノ行爲ヲナサシムルノ事實ナキカ

七、宿泊料其他宿泊人ニ關スル緊要ノ事項ハ帳場及客室ニ揭示シアルカ

八、宿泊人ノ承諾ナクシテ來訪者物品販賣者其他ノ者ヲ濫リニ客室ニ入ラシムルコトナキカ

九、雇人ノ雇入及解雇届出ヲ怠ルコトナキカ

一〇、宿泊料ノ抵償トシテ妄リニ旅客ノ物品ヲ預置スルモノナキカ

一一、宿泊人ヲ欺罔シテ滞在ヲ促シ又遊興ヲ勸メ或ハ金錢ヲ貪ルノ目的ヲ以テ客ノ需ナキ飲食物ヲ提供スルコトナキカ

一二、宿泊人ノ變死傷又ハ盜難紛失等ノ届出ヲ怠ルコトナキカ

- 一三、藝妓ヲ招致スルコトナキカ
- 一四、營業者雇人又ハ料理人中結核花柳病癩病其他傳染性疾患者ナキカ
- 一五、屋内ノ要所ニ完全適當ナル消火器ヲ設備シアルカ
- 一六、宿泊人中犯罪人又ハ傳染病患者ナキカ
- 一七、疾病旅客ニ對シ如何ナル取扱ヲナシアルカ
- 一八、營業用家屋ノ構造ヲ妄リニ變更増築シアラサルカ
- 一九、客室毎ニ堅固ナル錠前付ノ押入又ハ戸棚箆等ヲ設備シアルカ及破損シアラサルカ
- 二〇、宿泊人ノ承諾ナシニ相宿ヲ強要スルコトナキカ
- 二一、二十坪以上ノ二階客室ヲ有スル營業者ハ成規ノ階段及非常口ヲ完全ニ設備シアルカ
- 二二、釜場浴場煙筒洋燈置場等危險ヲ虞ナキカ

- 二三、屋内適當ノヶ所ニ完全ナル消火器及金屬製油壺洋燈ヲ使用シアルカ
- 二四、賭博及密賣淫ノ宿ヲ爲サ、ルカ
- 二五、客室階段廊下洗面所浴場等ニ唾壺ノ配置アルカ
- 二六、唾壺ノ消毒ハ完全ニ實行シ居ルカ
- 二七、客用ノ寢具ノ襟敷布團並ニ枕ハ白布ヲ以テ被包シ且ツ時々洗滌シテ清潔ニ爲シアルカ
- 二八、客用ノ便所及飲食物調理場所ハ最モ清潔ニナリ居ルカ
- 二九、宿泊人届出ヲ怠ルコトナキカ
- 三〇、下宿屋ハ下宿人ノ氏名札ヲ店頭又ハ門戸ニ掲示シ居ルカ
- 三一、下宿人ニシテ三日以上ノ外泊又ハ行衛不明者ノ届出ヲ怠ルコトナキカ
- 三二、客用便所ニ共用手拭ヲ使用シ居ラサルカ

- 三三、便所及洗面所ニ活栓付用水器ヲ備ヘアルカ
- 三四、肺結核其他傳染性疾患者ヲ宿泊セシメタルトキ其ノ客室及使
用寢具衣類等ハ消毒ヲ施行シアルカ

第五 浴場

參照 明治三十三年五月内務省令第二十五號十二歲以上ノ男女混浴禁止ノ
件同二十八年六月廳令第四十八號浴場取締規則同訓第一八三號同規
則取扱手續

- 一、洗湯營業ニシテ密カニ藥湯業ヲナスモノナキカ
- 二、構造ニ變更ナキヤ左ノ諸項ニ注意スヘシ
 - 一、浴場内ハ外部ヨリ見透サ、ル様設備シアルカ
 - 二、脱衣場ハ男女ニ區別シ衣類其他ノ携帶品ヲ保管スル戸棚又ハ
容器ヲ設備シアルカ
 - 三、脱衣場ト洗場ノ境界ニ硝子障子ヲ設ケアルヤ且ツ破損ノケ所
ナキカ

二、浴槽及洗場ハ男女ヲ區別シ雙方ヨリ見透サ、ル様設備シアル
カ

- ホ、洗場ニハ湯槽及水槽ノ設備アルカ且ツ破損シアラサルカ
- ハ、洗流場ノ地盤等破損ノケ所ナキカ
- ト、火焚場ノ竈ニ接近シアル部分ハ不燃質物ヲ以テ構造シアルカ
- チ、火消場及灰置場ハ竈前ニ地穴ヲ穿チ且ツ其中間ヲ仕切り不燃
質物ノ蓋ノ設ケアルカ
- リ、不燃質物ノ煙筒ヲ設備シアルカ且ツ破損ノケ所又ハ掃除ヲ怠
コトナキカ
- ヌ、煙筒ノ屋上ニ接觸シアル場所ハ不燃質物ヲ以テ包圍シアルカ
- ル、屋上煙筒ノ周圍二間以内不燃質ヲ以テ覆葺シアルカ且ツ破損
シアラサルカ
- ヲ、煙筒ヲ距ル二間以内ノ建設物ハ不燃質物ヲ以テ被覆シアルカ

又、金屬製ノ煙筒ニハ燃質物ト接スルケ所ニハ石又ハ漆喰ヲ嵌塞シアルカ

- カ、薪置場ハ火焚口ヨリ二間以上ノ距離又ハ隔壁ノ設備アルカ
- 三、浴場ニ於テ喧噪又ハ不潔ノ行爲ヲナスモノナキカ
- 四、十二才以上ノ男女混浴ヲナスモノナキカ
- 五、看護人ナキ老衰者又ハ疾病者ノ入浴ナキカ
- 六、洗湯業ニシテ浴客ノ厭忌スヘキ疾患者ヲ入浴セシムルコトナキカ
- 七、浴用ニ汚水ヲ使用スルコトナキカ
- 八、洗湯水ハ毎日交換スルカ
- 九、浴槽及洗湯ハ毎日掃除シ清潔ナルカ
- 一〇、火焚場煙筒又ハ洗場ニ破損ノケ所ナキカ
- 一一、火焚場ニ當用外ニ餘分ノ燃料ヲ堆積シアラサルカ

一二、消炭及灰ヲ二十四時間内ニ火消場又ハ灰置場外ニ取出スコト

ナキカ

- 一三、湯錢額ハ店頭又ハ脱衣場ニ掲出シアルカ
- 一四、多數ノ浴客アルトキ看守人ヲ附シ居ルカ
- 一五、消火器及金屬製油壺洋燈及唾壺ノ設備アルカ
- 一六、藥湯又ハ鑛泉湯ニハ効能書及浴法ヲ見易キケ所ニ揭示シアル

第六、雇人口入業

参照

明治三十五年五月廳令第六十二號雇人口入業取締規則同訓第四百七十四號同取扱手續

一、無免許ニテ雇人ノ口入又ハ藝妓娼妓ノ周旋紹介ヲナスモノナキ

二、他人ニ名義ヲ藉シテ營業ヲナサシムルモノナキカ

三、營業者ニシテ宿屋料理屋飲食店貸坐敷業ヲ兼ネ又ハ密カニナス

モノナキカ

- 四、雇人ノ届出ヲナサ、ルモノナキカ
- 五、未丁年者ニシテ法定代理人ノ承諾ナキ者ヲ口入スルコトナキカ
- 六、有夫ノ婦ニシテ夫ノ承諾ナキモノヲ口入スルコトナキカ
- 七、身元詳ナサル者ヲ口入スルコトナキカ
- 八、白痴瘋癲又ハ精神病者ヲ口入スルコトナキカ
- 九、雇人ノ來歴又ハ必要事項ヲ詐リ又ハ庇陰シテ口入ヲナスコトナキカ
- 一〇、依頼ナキ雇人ヲ勧誘シ又ハ藝娼妓ヲ勧誘シ若クハ勧誘セシムルコトナキカ
- 一一、雇傭期間中ノ者ヲ勧誘シテ他ニ口入ヲナシ又ハ本人ノ意ニ反シテ強テ口入ヲ周旋スルコトナキカ
- 一二、雇人ノ意志ヲ拘束シ又ハ雇主カ解雇ヲナスニ干涉スルコトナキカ

キカ

- 一三、口入ヲナスヘキ者ヲ宿泊セシムルコトナキカ
- 一四、手数料額ハ帳場其他見易キ場所ニ揭示シアルカ
- 一〇、手数料外ノ金銭物品ヲ要求シ又ハ受領スルコトナキカ
- 二一、期間滿了前ニ解約シタルトキハ殘期間ノ金額割前手数料ヲ返還セサルコトナキカ
- 二二、雇人口入簿ヲ備置キ正當ニ記載シアルカ
- 二三、帳簿ハ三年間以上保存シアルカ

第七 勞役者募集紹介

參照

大正三年四月廳令第三十六號勞役者募集紹介取締規則同訓令第三十三號同則取扱手續

- 一、無許可ニテ道路鐵道灌漑溝其他工事ニ從事スル土工夫ヲ募集シ又ハ紹介スルモノナキカ
- 二、募集者又ハ補助者ニシテ許可證又ハ其謄本ヲ携帯セスシテ募集

- 一、從事スルモノナキカ
- 二、左記各號ノ者ヲ勞役者トシテ募集又ハ雇傭スルモノナキカ
- イ、勞務ノ經驗ナキ者
- ロ、精神又ハ身体ノ狀況其他ノ事由ニ依リ勞役ニ堪ヘサル者
- ハ、親權者ノ承諾ナキ未成年者又ハ夫ノ承諾ナキ妻
- ニ、十六歳未滿ノ者
- 四、他府縣ニ於テ募集シタル工夫ヲ上陸地ニ於テ點檢ヲ受ケサルモノナキカ
- 五、工夫部屋ハ所轄警察官署ノ檢査ヲ受ケス使用スルコトナキカ
- 六、工夫部屋ノ構造ヲ變更スルコトナキヤ特ニ左記事項ヲ注意スヘシ
- イ、床張ヲ設ケアルカ
- ロ、屋室ハ一人疊二枚宛ノ割合ニ收容シ且ツ病者ト健康者區別シ

- ハ、アルカ
- ハ、換氣採光ノ設備適當ナルカ
- ニ、便所ハ炊事場並ニ井戸ト二間以上ノ距離ヲ有スルカ
- ホ、部屋内外ハ清潔ニナリ居ルカ
- ヘ、工夫部屋内ニ人在ルニ拘ラス外部ヨリ鎖鑰ヲ施スコトナキカ
- 七、工夫部屋ニ新ニ工夫ヲ收容シタルトキハ三日以内ニ所轄警察官署ニ届出點檢ヲ受クコトヲ要ス違反者ナキカ
- 八、警察官署ノ認可シタル勞役者處遇法ニ違反スルコトナキカ
- 九、工夫部屋ニ收容シタル土工夫ニシテ逃走死亡又ハ解雇若クハ七日以上ノ疾病休業ヲ爲シタル届出ヲ怠ルコトナキカ
- 一〇、工夫部屋ニハ規定ノ勞役者名簿ヲ備ヘ其出入ヲ明確ニ記入シアルカ

第八 案内業

參照 明治四十一年內務省令第二十一號案內業者取締規則同年一月廳令第百號同施行細則同訓第八百八十號同取扱手續

一、無免許ニテ案內業ヲナスモノナキカ

二、營業者ニケ年以上休業シ再ヒ試驗ヲ受ケスシテ營業ヲナスコト

ナキカ

三、營業者就業中ハ免許證ヲ携帶且ツ左胸部ニ徽章ヲ附シ居ルカ

四、案內業者ハ被案內者ニ對シテ其案內ニ關スル批評記載シタル證

明書ヲ求メ尙ホ不都合ノ行爲アリト認メラレタルトキハ警察官署

ニ内報セラレタキ旨ヲ申告セサルコトナキカ

五、案內業者ハ報酬其他ノ費用ニ付キ道廳ノ認可ヲ受ケ居ルカ

六、營業者ハ認可額以外ノ報酬其他ノ諸費用ヲ請求スルコトナキカ

七、案內業者ニシテ物品ノ購買其他諸般ノ周旋ニ關シ當事者ニ對シ

直接間接ヲ問ハス利益ヲ請求スルコトナキカ

八、強テ案內セント勸誘シ又ハ勸誘セシメルコトナキカ

九、故ナク案內ノ依頼ヲ拒絕シ又ハ拒絕セシムルコトナキカ

一〇、依頼者ノ趣旨ニ反シテ案內ヲ爲スコトナキカ

一一、營業ヲ禁止セラレタル者ニシテ免許證ヲ返納セス又ハ密カニ

營業ヲナスモノナキカ

一二、營業者ハ被案內者ヨリ受ケタル證明書ヲ擅ニ棄却スコトナキ

カ

一三、營業者ニシテ住所ヲ轉シタルトキ十日以内ニ届出サルコトナ

キカ

第九 代書業

參照

明治三十八年七月廳令第七十二號代書業取締規則同示令第二號代書料及起稿料認可標準

一、無免許ニテ代書業ヲナスモノナキカ

二、營業者ニシテ辯護士事務員ヲ兼ネ又ハ辯護士事務所下同一宅内

ニ營業所ヲ有スルモノナキカ

- 三、代書料金ハ業務所ノ見易キケ所ニ揭示アルカ
- 四、名義ノ如何ニ拘ラス料金外ノ報酬ヲ請求スルコトナキカ
- 五、他人ノ印章ヲ預置スルコトナキカ
- 六、同一事件ニ付キ利害ヲ異ニスル双方ノ委托ヲ受クルコトナキカ
- 七、委托ヲ受ケタル事件ヲ他ニ漏洩スルコトナキカ
- 八、紛議アル債權又ハ紛議ヲ生スヘキ虞アル債權ヲ讓受クルコトナキカ
- 九、必要以外ノ書類ヲ調製シテ料金ヲ請求スルモノナキカ
- 一〇、業務上ニ使用スル補助者ハ所轄警察官署ニ届出認可ヲ受ケ居ルカ
- 一一、權利義務ニ關スル文書ヲ代書シタルトキハ委托者ニ全文ヲ讀聞セ且ツ末尾ニ其コトヲ記入シアルカ
- 一二、受托事件簿ヲ調製シ三年間以上保存シアルカ

- 一三、事件簿ニハ所轄警察官署ノ檢印ヲ受ケアルカ
- 一四、許可事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其都度届出ヲナシアルカ

第十 彫刻營業

- 一、無届ニテ彫刻業ヲ營ムモノナキカ
- 二、營業者ハ注文帳ヲ備ヘ置キ依頼者ノ住所氏名年齢相貌及其交付ノ年月日印章ノ印材印影ヲ鮮明ニ記入押捺シアルカ
- 三、諸證券ノ版影ハ編綴シアルカ
- 四、註文帳及版影綴ハ十ヶ年保存シアルカ
- 五、不審ト認ムヘキ註文ヲ受ケ申告ヲ怠ルコトナキカ
- 六、帳簿版影綴リ檢閲ノトキハ他人ノ印影ヲ注文シタルモノナキカ
- 七、自ラ彫刻セサルモ印章又ハ諸證券ノ版面販賣業ニ付キテモ適用セラル筈ニ付キ同一ノ取締ヲナスヘシ

注意スヘシ

第十一 汽罐汽機

明治二十八年六月廳令第五十二號陸上用汽罐汽機取締規則

- 一、許可ヲ受ケス汽罐汽機ヲ設置使用スルモノナキカ
- 二、検査員ニ於テ制限シタル汽壓ヲ超過シテ使用スルモノナキカ
- 三、汽罐汽機其他ノ附屬器具ニシテ異狀ヲ呈スルモノナキカ
- 四、煙筒ニシテ破損崩壞顛仆墜落其他ノ危険ヲ醸スノ虞レナキカ
- 五、諸工場ノ建物ニシテ破損其他危険ヲ醸スノ虞アルケ所ナキカ
- 六、取扱主任ノ異動ナキカ

第十二 火工場取締

參照 明治二十七年十月廳令第五十八號火工場取締規則

- 一、許可ヲ受ケス左記工場ヲ設置スルモノナキカ
 - イ、鍛冶工場
 - ロ、鑄物工場
 - ハ、金吹工場

ニ、銅吹工場

ホ、硝子製造場

ヘ、板金製造場

五ト、針金製造場

二、火工場ノ構造ハ左記各號ニ適合シアルカ

イ、火焚場ノ周圍及天井裏ニ石煉瓦漆喰又ハ鐵板白鐵葉等ノ不燃

質物ヲ用キアルカ

ロ、煙筒ハ石材煉瓦土管鐵管鐵板等ノ不燃質ヲ以テ築造シアルカ

ハ、煙筒ヲ屋上又ハ屋側ニ出ストキハ其高サ屋根ヨリ十尺以上屋

外ニ建設スルトキハ三十尺以上アルカ

ニ、煙筒ヲ貫出スル屋根ハ其周圍ヲ煙筒ヨリ十尺以上瓦鐵其他ノ

不燃質物ヲ以テ覆葺シアルカ

三ホ、煙筒ヲ距ルコト十尺以内ニ燃質物建物アルカ否カ

- 三、火焚場天井裏煙筒ハ毎月三回以上定日ニ掃除シアルカ
- 四、火工場内及煙筒及其ノ支柱又ハ支持物ニシテ破損其他危険ノ虞アル箇所ナキカ

第十三 沖商業取締

參照 明治四十三年二月廳令第六號沖商業取締規則

- 一、許可ナクシテ沖商業ヲナスモノナキカ
- 二、營業者ハ検査ヲ受ケタル標旗標燈ヲ備ヘアルカ
- 三、許可ナクシテ夜間營業スルモノナキカ
- 四、營業用船ハ警察署ノ指定場所外ニ繫留スルモノナキカ
- 五、營業者雇人ハ左記各號ヲ遵守スルコトヲ要ス、違反者無キカ
 - イ、營業用船ニハ晝間標旗ヲ船尾ニ掲クヘシ
 - ロ、營業用船ニ許可ナクシテ他人ヲ便乗セシメ又ハ營業用外ノ物品ヲ乗載スヘカラス

- ハ、風俗ヲ害スル虞アル圖書冊子其他猥褻ニ涉ル物品ヲ携帯シ又ハ營業用品中ニ混入スヘカラス
- ニ、就業中ハ許可證ヲ携帯スヘシ
- ホ、船員船客ニ對シ侮慢粗暴ノ言行ヲナスヘカラス
- ヘ、就業中見苦シキ容裝ヲナス可ラス
- ト、艦船ノ運轉停止前之レニ接近シ又ハ碇泊艦船ノ錨索ニ繫船スヘカラス
- チ、竝漕又ハ競漕シ若クハ航通ノ妨害トナル行爲ヲナスヘカラス
- リ、船員ノ許諾ナクシテ艦船ニ出入スヘカラス
- ヌ、醉中業ニ就クヘカラス
- ル、郵便用ノ船舶ニ對シテ特ニ避讓スヘシ
- ヲ、開港ニ於テハ許可ナク夜間帆走スヘカラス
- 六、許可事項ニ異動ヲ生シタルトキハ五日以内ニ届出ヲナシアルカ

第三編 交通警察

第一 街路取締

參照 明治二十七年五月廳令第二十三號街路取締規則

- 一、連檐戸數五百戸以上ノ區町村及之ニ接續スル人家稠密ノ場所ニ於ケル道路溝渠下水並ニ橋梁交通ノ取締トス
- 二、街路ニハ左記制限ニ從フモノ、外建物軒檐招牌物干等ヲ設ケ又ハ出スコトヲ得ス違反スルモノナキカ
- イ、釣看板標旗ハ地盤ヲ距ル高サ一丈以上ニ限リ二尺以内
- ロ、軒檐ハ地盤ヲ距ル高サ九尺以上ハ二尺以内六尺以上ハ一尺五寸以内
- ハ、日除ハ(布類ヲ用ユルモノ)支柱ヲ用ヒス地盤ヲ距ル高サ七尺以上ニ限リ四尺五寸以内
- ニ、掲燈ハ地盤ヲ距ル高サ六尺以上ニ限リ一尺以内

ホ、煙筒ハ地盤ヲ距ル高サ六尺以上ニ限リ二尺五寸以内

ヘ、雪圍ハ道幅五間以上ハ六尺以内五間以内ハ三尺以内

但シ地盤ノ私有ニ屬スル街路ニ在リテハ所轄警察官署ノ許可ヲ受ケ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

三、左記各號ノ事項ハ所轄警察官署ノ許可ナケレハ設置スルコトヲ得ス違反者ナキカ

イ、街路ニ床店又ハ葎簧張ヲ設クルコト

ロ、街路ニ樹木ヲ植ヘ又ハ簾柱街燈ヲ建ツルコト

ハ、街路ニ欄柵支柱ヲ設ケ又ハ齒止石ヲ置クコト

ニ、街路ニ華表碑表指導標其他公衆ノ用ニ供スル標識ヲ建設スルコト

ホ、街路ニ目塗土置場ヲ設クルコト

ヘ、工事又ハ商業ノ爲メ一時竹木土石類ヲ置キ若クハ板圍繩張足

代ヲ設クル等街路ヲ使用スルコト
ト、街路ヲ經テ建物ヲ移シ又ハ街路ヲ壅塞スヘキ長大ノ物品ヲ運搬スルコト

チ、神佛祭典興行又ハ年市等ノ節街路ニ一時舞臺小屋掛ヲ設クルコト

リ、街路ニ神輿(慣行アルモノヲ除ク)山車又ハ手踊屋臺ヲ出スコト

ヌ、營業販又ハ一家ノ祝事等ノ爲メ一時街路ニ店飾綠門若クハ釣提灯釣燈籠ヲ設クルコト

ル、工事ノ爲メ一時街路ノ通行ヲ禁止スルコト

ヲ、街路ニ消防具其他公衆ノ用ニ供スル物品ヲ置クコト

ワ、街路ニ於テ繩綯荷造木挽其他ノ作業ヲ爲スコト

カ、街路ニ火ノ見又ハ便所ヲ見クルコト

ヨ、街路ニ電燈柱電話柱ヲ建設スルコト

タ、制限外ノ日除又ハ雪圍ヲ設クルコト

四、祝日祭典開扉歲市等ニ際シ交通其他ノ妨害ナキ限リ一時的左記物件ヲ出スハ警察官署ノ許可ヲ受クルコトヲ要セサルニ付キ注意スヘシ

イ、旗幟ヲ建ツルコト

ロ、門松、綠門(橋梁ニ設クルモノヲ除ク)等ヲ設クルコト

ハ、提灯又ハ燈籠ヲ出スコト

ニ、屋臺店又ハ露店ヲ出スコト

五、街路ヲ使用シテ之ヲ毀損シタルモノニシテ直チニ原形ニ復スルコトヲ怠ルモノナキカ

六、街路ニ於テ使用スル屋臺店ハ長サ六尺幅四尺以下ナルヲ要ス違反者ナキカ

七、街路ニ沿フタル空地ニシテ奥行九尺以上アル場所ハ道路ノ境界ニ墻塀ヲ設タルコトヲ要ス怠ルモノナキカ

- 八、街路ニ出タル軒檐ニ軒樋及堅樋ヲ設ケサルモノナキカ
- 九、街路ニ沿フタル高處ニ墜落ノ虞アル物品ヲ載セ置クモノナキカ
- 一〇、街路ニ沿フタル建物樹木等崩壞顛倒スルノ虞アルモノナキカ
- 一一、街路ニ沿フ場所ニ竹木ヲ立テ置クニ鐵鎖又ハ強靱ナル繩索ヲ以テ纏束セサルモノナキカ
- 一二、街路ニ沿フ場所ニ崩壞顛倒ヲ防ク裝置ナクシテ薪炭其他ノ物件ヲ堆積シ置クモノナキカ
- 一三、一時運搬中ノ竹木土石類其他ノ物件ヲ街路ニ止メ置クトキ路傍ニ片寄セ標識ヲ附セサルモノナキカ
- 一四、道路溝渠下水橋梁等ヲ毀損シ又ハ壅塞シ或ハ街路ノ樹木ヲ伐採シ若クハ街燈ヲ破毀消滅スルモノナキカ
- 一五、制札指導標墻塀電燈柱電信電話柱等ヲ毀棄汚損シ又ハ落書貼紙等ヲナスモノナキカ

- 一六、指定地外ニ露店又ハ屋臺店ヲ出スモノナキカ
- 一七、街路ニ商品薪炭其他ノ物件ヲ排列シ又ハ積置クモノナキカ
- 一八、鐵道馬車電車線路ニ木石瓦礫其他行進ノ妨害トナルヘキ物件ヲ置クモノナキカ
- 一九、街路ニ於テ火氣ヲ弄シ又ハ焚火ヲナスモノナキカ
- 二〇、街路ニ牛馬羊豚ヲ放置シ又ハ之ヲ飼養スルモノナキカ
- 二一、他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放スルモノナキカ
- 二二、街路ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ吠シ又ハ驚逸セシムルモノナキカ
- 二三、公衆ノ目ニ觸ルヘキ場所ニ於テ牛馬其他ノ動物ヲ虐待スルモノナキカ
- 二四、牛馬ヲ牽キ又ハ繫クコト忽ニシ行人ノ妨害ヲナスモノナキカ
- 二五、制止ヲ肯セス放歌喧噪又ハ高聲ヲ發シ若クハ偃臥スルモノナキカ

- 二六、街路ノ掃除ヲ怠リ又ハ積雪ノ取片付ヲナサ、ルモノナキカ
- 二七、炎天風日ノ際撒水ヲナサ、ルモノナキカ
- 二八、街路ニ於テ蓋ナキ器具ヲ以テ汚穢物ヲ運搬シ又ハ汚穢物ヲ堆積シ若クハ乾燥スルモノナキカ
- 二九、墜落漏出又ハ飛散スヘキ物品ヲ運搬スルニ適當ノ装置ヲ施サ、ルモノナキカ
- 三〇、街路ニ臨ミタル屋根物干又ハ窓手摺等ニ見苦シキ物品ヲ懸ケ置クモノナキカ
- 三一、夜中燈火ナクシテ牛馬ヲ疾驅スルモノナキカ
- 三二、牛馬ヲ並ヘ牽キ又ハ濫リニ疾驅シテ通行妨害ヲナスモノナキカ
- 三三、牛馬ハ口取ナクシテ追立又ハ許可ナクシテ二頭以上ヲ連繫シテ牽クモノナキカ

- 三四、制止ヲ肯セスシテ出火場其他雜沓ノ場所ニ入り又ハ牛馬ヲ牽キ入ルモノナキカ
- 三五、末口ノ尖リタル竹木ノ末口ヲ纏束セスシテ運搬スルモノナキカ
- 三六、街路ニ於テ客引ヲナシ又ハ濫リニ通行人ヲ引止メ若クハ風俗ヲ亂ス所業ヲナスモノナキカ
- 三七、街路ニ於テ手毬ヲ投ケ獨樂ヲ弄ヒ又ハ其他ノ遊戲ヲナスモノナキカ
- 三八、街路ニ於テ軍談輕業其他ノ人寄ヲ爲スモノナキカ
- 三九、看護人ナクシテ四才未滿ノ小兒ヲ放遊セシムルモノナキカ
- 四〇、街路ノ通行及避讓方法ハ左ノ制限ニ依ラシムヘシ
- イ、人道車馬道ノ設アル場所ニ在リテハ牛馬車ヲ人道ニ牽入ル可ラス

- ロ、牛馬ハ車馬道ノ設アル地ハ左側其他ハ街路ノ中央ヲ通行スヘシ但シ積雪中ハ行人ノ妨害トナラサル様避讓スヘシ
- ハ、車馬及歩行者行逢フトキハ互ニ左ニ避ケ軍隊並ニ砲車輜重車ニ對シテ右ニ避クヘシ
- ニ、郵便用消防用ニ供スル車馬又ハ灌水車若クハ葬送等ニ行遇フトキハ避讓スヘシ
- ホ、牛馬ヲシテ街角ヲ通行セシムルトキハ右ハ大廻ヲ爲シ左ハ小廻ヲナスヘシ
- ヘ、實車ニ對シテハ空車之ヲ避ケ坂路ハ上リ車之ヲ避クヘシ但實車空車行逢フトキハ空車之ヲ避クヘシ
- ト、前車徐行シ後車疾行セントスルトキハ後車ヨリ相當ノ合圖ヲ爲シ前車ハ右ニ避ケ後車ハ左ヲ通過スヘシ
- チ、二車以上引續キ行進スルトキハ後車ハ前車ヨリ相當ノ距離ヲ取ルヘシ
- 四一、通行禁止ノ場所ヘハ許可ナクシテ立入ルモノナキカ但シ其區

域内ニ居住スルモノハ此限ニアラス

- 四二、夜中燈火ナクシテ諸車ヲ牽クモノナキカ

第二 人力車營業取締

參照

明治二十七年五月廳令第二十四號人力車營業取締規則同訓第一百七十一號同取扱手續

- 一、車体検査證輓子免許證ハ毎年四月十月検査ヲ受ケ所轄警察官署ノ檢印ヲ受ケアルカ
- 二、免許證ヲ他人ニ貸借シ又ハ検査證ヲ轉用スルノ事實ナキカ
- 三、検査證及賃錢表ハ車体ノ蹴上ノ正面ニ釘附シアルカ
- 四、検査證及免許證面ノ文字不分明ノモノナキカ
- 五、検査證アル車体ニシテ破損又ハ不潔ノモノナキカ
- 六、免許證ヲ携帯セスシテ車ヲ輓クモノナキカ
- 七、他警察官署内ヘ轉居シテ検査證又ハ免許證ヲ返納セサルモノナキカ

八、車体ニハ左記附屬品ヲ備ヘ且ツ清潔ニナリアルカ

イ、黑色ノ泥除及黑色ノ護謨引又ハ黑色桐油製ノ母衣及同色ノ前

掛

ロ、不潔ナラサル蒲團及膝掛

ハ、細長提灯及蠟燭マツチ

九、轆子ハ免許證ヲ携帶シ居ルカ

一〇、轆子ハ不潔ナル法被股引ヲ使用シアラサルカ

一一、轆子ニシテ頰冠鉢卷其他不体裁ノ形装ヲナスモノナキカ

一二、通行ノ妨害トナルヘキ場所ニ車ヲ置クモノナキカ

一三、空車ヲ轆テ路上ヲ彷徨シ居ルモノナキカ

一四、乗客ノ指定セサル宿屋其他ノ場所ニ車ヲ轆キ入ルコトナキカ

一五、轆子ニシテ酔中就業スルモノナキカ

一六、制止ヲ肯セス出火場其他群集ノ場所ニ車ヲ轆キ入ルモノナキカ

一七、行人ニ對シ強テ乗車ヲ勸メ又ハ侮慢ノ言行ヲナスモノナキカ

一八、人力車ヲ竝ヘ轆キ又ハ濫リニ疾驅シ若クハ競走スルコトナキ

カ

一九、人力車ヲ二臺以上連繫シテ轆クセノナキカ

二〇、人力車ヲ轆キテ人道ヲ通行スルコトナキカ

二一、往來雜沓又ハ狹隘ノ場所及街角橋上ヲ通行スルトキ徐行シ且

ツ合圖ヲナサ、ルモノナキカ

二二、街角橋上其他往來ノ妨害トナル場所ニ於テ客ノ昇降ヲナスモ

ノナキカ

二三、正當ノ理由ナクシテ出車ヲ拒ムコトナキカ

二四、乗客ノ承諾ヲ得ス中途他車ニ乗セ換ヘ又ハ濫リニ駐車スルコ

トナキカ

二五、一人乗ニ二人以上二人乗ニ三人以上ヲ乗スルコトナキカ

二六、左記各號ニ該當スルモノヲ警察官吏ノ命令又ハ認可ナクシテ
乗載スルコトナキカ

イ、傳染病豫防法ニ據ル傳染病患者

ロ、汚穢物其他車ヲ汚染シ又ハ惡臭ヲ留ムヘキ物品

ハ、長大ノ物品

二七、定額外ノ賃錢ヲ請求スルコトナキカ

二八、特置組合營業區域内へ組合ニ入ラサルモノ立入ルコトナキカ

二九、人力櫂ニ在テハ總テ本則ヲ遵守セシムヘシ

三〇、通行避讓方法ハ街路取締ノ第四十號ニ從フヘシ

第三 乗合馬車營業

參照 明治二十七年五月廳令第二十五號乘合馬車營業取締規則同年同月訓
第七十號同則取扱手續

一、車体検査證馬匹検査證及馭者車掌馬丁ノ免許證ハ毎年四月又ノ

五月ノ検査ヲ受ケ其ノ檢印ヲ受ケアルカ

二、馭者車掌馬丁及馬匹ノ異動ハ其都度届出アルカ

三、車体ニハ検査證及賃錢表ヲ馬匹ニハ検査證ヲ馬首ニ釘付又ハ結

著シアルカ

四、車体及馬匹ノ検査證ヲ轉用シ或ハ馭者車掌馬丁免許證ヲ賃借ス

ルノ事實ナキカ

五、検査證アル車体ニシテ破損又ハ不潔ナルモノナキカ

六、車体ニ左記各號ノ附屬具完備シアルカ且ツ清潔ナルカ

イ、車体ニハ駐車器及泥除ヲ備ヘ木製ノ屋根又ハ適當ノモノアル

カ

ロ、布類ノ日覆護謨引又ハ桐油製ノ雨覆

ハハ、腰掛ニ清潔ナル蒲團

ニ、車体前面ニハ硝子燈

ホ、運轉器心棒發條力革手網其他ノ屬具ハ堅牢強韌ナルモノ

七、馭者車掌及馬丁ノ服裝ハ制規ニ違フコトナキカ且ツ不潔又ハ破綻シアラサルカ

八、免許證又ハ檢査證ノ文字不分明ノモノナキカ

九、馭者車掌及馬丁ニシテ免許證ヲ携帶セサルモノナキカ

一〇、車掌馭者馬丁ニシテ頰冠鉢卷其他不体裁ノ形装ヲナスモノナ

キカ

一一、馭者ニシテ濫リニ馬車ヲ離ル、コトナキカ

一二、往來ノ妨害トナル場所ニ馬車ヲ置クコトナキカ

一三、老幼及嬌女昇降ノ際保護ヲナサ、ルモノナキカ

一四、乗客ノ着席シ又ハ降車シ終ラサルニ車ヲ運轉スルコトナキカ

一五、馭者臺ニ客ヲ乗載シ又ハ屋根ニ物品ヲ載スヘキ構造ナクシテ

載セ置クコトナキカ

一六、行車中飲食又ハ喫煙ヲナスコトナキカ

一七、車掌馭者馬丁ニシテ醉中就業スルモノナキカ

一八、行人ニ對シ強テ乗車ヲ勸メ又ハ侮慢ノ言行ヲナスコトナキカ

一九、制止ヲ肯セス出火場其他群集ノ場所ニ馬車ヲ入ル、コトナキ

カ

二〇、馬車ヲ竝ヘ進メ又ハ濫リニ疾驅シ若クハ競走スルコトナキカ

二一、往來雜沓又ハ狹隘ノ場所及街角橋上ヲ通行スルトキハ徐行シ

且ツ相當ノ合圖ヲ爲シ馬丁ヲ前行セシメサルコトナキカ

二二、馬車ニハ馭者及車掌又ハ馬丁ノ内二名ヲ欠クコトナキカ

二三、定員外ノ客ヲ乗載スルコトナキカ

二四、定額以外ノ賃金ヲ請求スルコトナキカ

二五、車体及馬匹ハ常ニ清潔ニナシアルカ

二六、馬匹ヲ殘虐ニ使用スルコトナキカ

二七、定員二分ノ一以上ノ乗客アルニ出車ヲ拒ムコトナキカ

二八、乗車ノ需メアルニ正當ノ理由ナクシテ拒ムモノナキカ
二九、乗客ノ承諾ヲ得ス中途ニ於テ他車ニ乗替ヘ又ハ濫ニ駐車スルコトナキカ

三〇、左記各號ニ該當スルモノヲ乗載セシムルコトナキカ

イ、傳染病豫防法ニ掲ケル傳染病患者及癩患者

ロ、汚穢物其他惡臭ヲ發シ又ハ汚染ノ虞アル物品

ハ、亂醉者

ニ、獸類

三一、通行避讓方法ハ街路取締第四十號ニ依ラシムヘシ

第四 荷車取締

參照 明治四十五年三月廳令第二十六號荷車取締規則同年同月訓令第二四號同則取扱手續

一、檢印ナキ荷馬車ヲ使用スルモノナキカ

二、住所氏名ヲ明記シタル木札ヲ車体ノ右側ニ附セサル荷車ナキカ

三、荷馬車ニハ一頭輓ニ三百貫二頭輓ニ五百貫ヲ超過シタル重量荷物ヲ積ムコトナキカ

物ヲ積ムコトナキカ

四、十五才未滿ノモノヲシテ荷馬車ヲ使用セシムルコトナキカ

五、馭者臺ノ設ケナキ荷馬車ニ乗馭スルモノナキカ

六、荷馬車ノ手綱ヲ三尺以内ニ取ルコトナキカ

七、荷馬車ヲ疾驅スルコトナキカ（但シ交通稀疎ナル場所ハ此ノ限

リアラス）

八、荷馬車積荷ハ車軸ノ兩端荷臺ノ兩側以外ニ突出スルモノナキカ

但シ竹木等分割ス可ラサル物件ヲ車軸ノ前後各一方丈ヲ斜ニ突出

スルコトヲ得

九、荷馬車ヲ駐メ置クニ馬匹ニ口取ヲ附セス又ハ繫留ヲ怠ルモノナ

キカ

一〇、荷車ヲ跡押ノミニテ進行セシムルコトナキカ

- 一一、雪路ニ於テ馬首ニ鐸鈴ヲ纏結セサルモノナキカ
- 一二、許可ヲ受ケスシテ荷車二箇以上ヲ連繫シテ使用スルコトナキカ
- 一三、通行避讓方法ハ街路取締第四十號ニ依ラシムヘシ

第五 自轉車取締

參照 明治三十六年四月廳令第六十七號自轉取締規則

- 一、所有者ノ住所氏名ヲ標記セサル自轉車ヲ使用スルモノナキカ
- 二、他人ニ警戒ヲ與フル「ベル」又ハ其他ノ音響器ヲ裝置セス又ハ携帶セシテ乗用スルモノナキカ
- 三、破損又ハ異狀アル自轉車ヲ乗用スルモノナキカ
- 四、兩手ヲ「ハンドル」ヨリ離シテ乗車シ居ルモノナキカ
- 五、街角橋上坂路又ハ狹隘若クハ交通頻繁ノ場所ニテ音響器ヲ鳴サス又ハ徐行セサルモノナキカ

- 六、急斜セル坂路及群集雜沓ノ場所ニテ降車セサルモノナキカ
- 七、道路ニ於テ乗車ノ練習競走又ハ曲乗ヲナスモノナキカ
- 八、道路又ハ道路ニ面シタル場所ニ於テ袴若クハ股引ノ類ヲ着用セシテ乗車スルモノナキカ
- 九、夜間燈火ナクシテ乗車スルモノナキカ
- 一〇、下リ「ハンドル」ノ自轉車ヲ使用スルモノナキカ
- 一一、十二才未滿ノモノ乗車スルコトナキカ
- 一二、乗車人員定數ノ外乗車スルモノナキカ
- 一三、通行避讓方法ハ街路取締第四十號ニ依ラシムヘシ

第六 自働車取締

參照 大正三年三月廳令第二十一號自働車取締規則同年同月訓第二百號同則取扱手續

- 一、検査證及番號ノ明記ナキ自轉車ヲ使用スルモノナキカ
- 二、免許證ヲ携帶セサル車掌運轉手ニシテ自働車ヲ操縱セシムルコト

- トナキカ
- 三、自働車ハ市街地ハ一時間八哩其他ニアリテハ一時間十哩以上ノ速力ヲ出スコトナキカ
- 四、自働車ニシテ市街地ニアリテハ三間半未滿其他ニ在テハ二間半以内ノ道路ヲ通過スルモノナキカ
- 五、營業用自働車ニシテ車体附屬機械器具等破損又ハ異狀ヲ來シ危険ノ虞アルモノナキカ
- 六、車掌運轉手ハ成規ノ服裝ヲナシ居ルカ
- 七、營業用自働車ハ乗客定員賃錢表及車掌運轉手ノ氏名標札ヲ車内見易キ箇所ニ掲ケ且ツ行先ヲ示スヘキ標札ヲ車輛ノ前後ニ掲ケサルモノナキカ
- 八、營業用自働車ノ車掌運轉手ハ左記各號ノ事項ヲ遵守シ居ルカ
- イ、免許證ヲ携帯スルコト

- ロ、免許證ナキモノニ其事務ヲ委托セサルコト
- ハ、就業中濫リニ飲食又ハ喫煙ヲ爲シ若クハ酒氣ヲ帶ヒテ業務ヲ取ラサルコト
- ニ、乗客又ハ公衆ニ對シ侮慢ノ言行ヲ爲サルコト
- ホ、老幼婦女ノ昇降ハ懇篤ニ保護扶掖スルコト
- ヘ、通行人ニ對シ乗車ヲ勧誘セサルコト
- ト、警察官吏ニ於テ舉手其他ノ方法ヲ以テ停車ヲ命シタルトキハ直ニ停車スルコト
- チ、正當理由ナクシテ乗車ヲ拒マサルコト
- リ、定員外ノ客ヲ載セ又ハ定量ヲ超過シタル貨物ヲ積マサルコト
- ヌ、乗客ノ着席シ又ハ降車シ終ラサル内ニ發車ノ信號ヲナシ又ハ發車セシメサルコト
- ル、行進中客ヲ昇降セシメサルコト

- ヲ、客席以外ニ客ヲ乗載セシメサルコト
- ワ、惡臭粉塵又ハ有害瓦斯ヲ發散シ又ハ他物ヲ汚染スル虞アル物品ヲ積ミ又ハ携帶セシメサルコト
- カ、夜間運轉スルトキハ規定ノ燈火ヲ點スルコト
- ヨ、酩酊者法定傳染病精神病其他他人ノ厭忌スヘキ疾病アル者若クハ同乗者ニ不快ヲ感セシヘキ不潔ノ容裝ヲ爲シタル者ヲ乗車セシメサルコト
- タ、乗客中粗暴喧噪其他他人ノ迷惑トナル行爲ヲナス者ハ之ヲ制止シ尙ホ肯セサルトキハ降車セシムルコト
- 九、運轉手ハ前號ノ外尙ホ左記各號ノ事項ヲ遵守シ居ルカ
- イ、制限速度ヲ超過シ若クハ規定ニ違反シテ行車セサルコト
- ロ、就業中運轉手臺ヲ離レサルコト
- ハ、他車ト竝行シ又ハ競走セサルコト

- ニ、往來雜踏ノ場所又ハ街角橋上坂路等ヲ通過スルトキハ絶エス音響器ヲ鳴ラシ徐行スルコト
- ホ、許可ヲ受ケタル營業線路外ヲ行車セサルコト
- ヘ、出火場其ノ他群集ノ場所ヲ行進セサルコト
- ト、馬匹ニ近ツクトキハ速度ヲ緩メ恐怖セシメサル様注意スルコト
- 一〇、自用自働車ニアリテハ車掌運轉手ノ遵守事項ハ之ヲ適用セラ

第七 渡船場取締

參照 明治三十一年十月廳令第七十七號渡船場取締規則

- 一、渡船場ノ設備ハ完全ナルカ
- 二、渡船ハ堅牢ニシテ器具完備シアルカ
- 三、渡船營業者又ハ船夫ノ居住セサル渡船場ノ對岸ニハ出船ノ合圖

- 三、供スヘキ盤木又ハ半鐘ノ設備アルカ
- 四、渡船ニ乗載人員ヲ定メタル吃水線ハ明書ニナリアルカ
- 五、正當ノ理由ナクシテ出船ヲ拒ミ又ハ遅延スルコトナキカ
- 六、營業者及船夫ニシテ熟醉又ハ見苦シキ風体ヲナシテ就業スルコトナキカ
- 七、夜間渡船ニハ燈火ヲ點シアルカ
- 八、乗員及貨物ニ對シ懇切ニ取扱ヒ粗暴侮慢ノ行爲ヲナスコトナキカ
- 九、船体不相應ノ乗載ヲナスコトナキカ
- 一〇、暴風出水結氷等ノ爲メ二日以上ノ休業ハ届出ヲ怠ルコトナキカ
- 一一、渡船場ニハ渡船場取締規則ノ全文及渡船賃ノ揭示ヲナシアルカ

- 一二、渡船内ニ乗載定員及渡船賃ヲ掲出シアルカ
- 一三、定額外ノ金銀物品ヲ受ケ又ハ請求スルコトナキカ
- 一四、左記各號ニ該當スル者ヨリ賃金ヲ請求スルコトナキカ
- イ、軍隊隊伍ヲ組ミ通行ノトキ
- ロ、警察官憲兵公務ノタメ制服ヲ着シ通行ノトキ
- ハ、警察官吏司獄官吏囚人又ハ犯罪人ヲ護送引致ノトキ但シ囚人犯罪人其繩取人夫トモ
- ニ、森林検査員及森林監守手簿ヲ携帯通行ノトキ但シ犯罪人引致ノ場合ハ其犯罪人繩取人夫トモ
- ホ、消防組員水火災警防又ハ演習ノ際制服ヲ着シ通行ノトキ
- ヘ、郵便電信遞送集配人其遞送集配ノ爲メ制服ヲ着シ又ハ印鑑ヲ携帯シ通行ノトキ
- ト、河川道路橋梁ノ測量又ハ工事監督ノ爲メ從業者印鑑携帯擔當

區域内通行ノトキ及從業者ニ附隨スル人夫トモ

第八 人馬繼立營業取締

參照 明治三十三年六月廳令第四十七號人馬繼立營業取締規則

- 一、無届ニテ人馬繼立業ヲ營ムモノナキカ
- 二、營業者届出タル左記各號ハ符合シアルカ
 - イ、人夫馬丁ノ員數
 - ロ、乗用ニ供スル牛馬ノ頭數及毛色年齢
 - ハ、貨物運搬ニ供スル牛馬ノ頭數
 - ニ、車櫓及乗鞍ノ員數
- 三、營業用ノ車櫓及附屬器具ハ堅牢ニシテ破損又ハ不潔ノモノナキカ
- 四、乗用馬匹ニシテ三才未滿又ハ外傷惡癖アルモノナキカ
- 五、營業所及取扱所ニハ看板隣村及十里未滿ノ各驛ノ里程表賃錢額

及運搬制限ヲ揭示シアルカ

- 六、旅客及貨物ヲ懇切ニ取扱ヒ粗暴侮慢ノ言行ヲナスコトナキカ
- 七、醉中執業スルモノナキカ
- 八、運送中濫リニ車馬ヲ休止シ又ハ疾驅セシメ若クハ競争ヲナスモノナキカ
- 九、牛馬ヲ殘虐ニ取扱フコトナキカ
- 一〇、客ノ許諾ナクシテ人夫馬車及車櫓等中途繼換ヲナスコトナキカ
- 一一、正當ノ理由ナクシテ人夫牛馬車櫓ノ差立ヲ拒ミ又ハ濫リニ請求ノ時間ヲ遅延スルコトナキカ
- 一二、乗用ニ供スル馬匹ニ客ノ需メアルニ馬丁ヲ附セサルコトナキカ
- 一三、定額外ノ賃錢ヲ請求スルコトナキカ

一四、左記制限内ノ貨物運搬ヲ拒絶スルコトナキカ

イ、人夫一人 七貫匁迄

ロ、牛馬一頭 三十二貫匁迄

ハ、荷馬車一頭曳 八十貫匁迄

ニ、同三頭曳 百三十五貫匁迄

ホ、荷馬櫓一臺 九十貫匁迄

ヘ、荷車荷櫓一臺 十五貫匁迄

一五、驛遞所取扱人ノ人馬繼立業ニ付テハ本取締ニ依ルヘシ

第九 港内取締

參照 明治二十三年四月廳令第十八號港内取締規則

一、函館、根室、小樽、室蘭、江差、岩内、増毛、釧路、壽都、厚

岸ノ港内及海岸地ニ於テ道廳ノ許可ナクシテ左記工作物ヲ建設ス

ルモノナキカ

イ、船舶定錨標ノ設置又ハ改造

ロ、棧橋架設又ハ標燈其他ノ目標ノ建設又ハ改造

ハ、波止場、物揚場、石垣、板柵等ノ築造建設又ハ改造

二、左記各號ニ該當スル事項ハ所轄警察署ノ許可ヲ要ス違反者ナキ

カ イ、繫船杭又ハ筏等ノ繫留杭ヲ建設改造及修理スルコト

ロ、波除杭石垣根留等ヲ建設改造及修理スルコト

ハ、棧橋標燈其他ノ目標及波止場物揚場石垣板柵等ヲ修理スルコ

ト

ニ、海中浚渫又ハ土砂ヲ採掘スルコト

ホ、游泳場ヲ設クルコト

ヘ、波止場物揚場及海岸地ニ一夜以上諸車其他ノ物品ヲ置クコト

ト、足代ヲ設クルコト

チ、花火其他火器ヲ弄スルコト

三、左記事項ノ届出ヲ所轄警察官署へ爲サスシテ執行スルモノナキ

カ

イ、船舶ハ進水式ヲ執行スルコト

ロ、端艇ノ競漕ヲ執行スルコト

ハ、施餓鬼ヲ執行スルコト

四、船舶及筏等ニシテ他ノ船舶出入航路ニ碇泊シテ通船ノ妨害ヲナ

スモノナキカ

五、船舶ノ燈火及航法ハ海上衝突豫防法(明治二十五年法律第五號)ニ違フコトナ

キカ

六、軍艦以外ノ船舶ニシテ火薬又ハ破裂質ヲ含有スル物品ヲ搭載セ

ル船舶又ハ傳染病者ヲ搭載セル船舶ニシテ届出ヲ怠リ又ハ指示シ

タル場所外ニ碇泊スルコトナキカ

七、港内ニ建物ヲ設ケ又ハ波止場物揚場棧橋海岸地等ニ車馬竹木其

他物品ヲ放置スルモノナキカ

八、棧橋又ハ堤防ノ障害トナルケ所ニ船舶及筏ヲ繋留スルモノナキ

カ

九、護岸ノ建物並ニ浮標礁標其他標木ヲ損壞シ又ハ船舶筏等ヲ此等

ニ繋留スルモノナキカ

一〇、波止場物揚場ノ沿岸ニ濫リニ船舶及筏等ヲ繋留スルモノナキ

カ

一一、他人ノ繋留シタル舟筏ヲ解放スルモノナキカ

一二、水路ニ船舶其他ノ物件ヲ横へ又ハ並列シテ通船ノ妨害ヲナス

モノナキカ

一三、港内波止場物揚場其他沿岸堤防地ニ塵芥瓦礫炭灰禽獸ノ死屍

等其他障害トナル物件ヲ投棄スルモノナキカ

- 一四、棧橋又ハ波止場物揚場外ニ乗客貨物ノ揚卸ヲナスモノナキカ
- 一五、夜間燈火ナクシテ乗客及貨物ノ揚卸ヲナスモノナキカ
- 一六、港内ニ於テ濫リニ發砲スルモノナキカ
- 一七、函館港ニアリテハ本取締ノ外明治三十一年七月勅令第百二十九號開港規則ニヨリ取締ヲナスヘシ

第十 舢船營業

參照 明治四十三年二月廳令第五號舢船營業取締規則

- 一、許可ヲ受ケス舢船營業ヲナスモノナキカ
- 二、検査證ナキ舢船ヲ營業ニ使用スルモノナキカ
- 三、許可證ナキ船夫ヲシテ操船セシムルモノナキカ
- 四、乗用舢船及附通舢船ニハ検査證乗載定員表及賃錢表ヲ船内ニ掲出シアルカ
- 五、運送舢船ニハ検査證及吃水線ヲ明確ニ表示シアルカ

六、舢船ニハ制限ノ標旗標燈ヲ備ヘアルカ

七、舢船及検査證船夫許可證標旗標燈ハ定期ノ検査ヲ受ケアルカ

八、石油、酒精、硫黄、硫酸、樟腦其他發火シ易キ物品ノ運送船ニハ赤

色ノ標旗ヲ設備シアルカ

九、定額外ノ賃錢ヲ請求シ又ハ請求セシムルモノナキカ

一〇、正當ノ事由ナクシテ出船ヲ拒ムモノナキカ

一一、乗客其他ニ對シ侮慢粗暴ノ言行ヲナスモノナキカ

一二、乗載制限ヲ超過シテ乗客手荷物貨物ヲ乗載スルコトナキカ

一三、船夫就業中晝間ハ標旗ヲ船尾ニ夜間ハ標燈ヲ船首ニ掲ケ居ルカ

一四、指定ノ着船場外ニ於テ濫リニ乗客ノ乗降又ハ貨物ノ積卸ヲナスモノナキカ

一五、船夫ニシテ就業中見苦シキ容裝ヲナスモノナキカ

- 一六、艦船ノ運轉停止前ニ接近シ又ハ碇泊艦船ノ錨索ニ繫船スルモノナキカ
- 一七、船員ノ許諾ナクシテ艦船ニ出入シ又ハ昇降場外ヨリ昇降セシムルコトナキカ
- 一八、乗客ノ昇降又ハ貨物ノ積卸ノ外艦船ヨリ十五間以内ニ繫留スルモノナキカ
- 一九、承諾ヲ得スシテ人ノ手荷物其他ノ貨物ニ接觸スルモノナキカ
- 二〇、艦船ニ繫留中濫リニ解船ヲ離ルコトナキカ
- 二一、乗客又ハ荷主ノ承諾ヲ得スシテ途中他船ニ乗セ換ヘ又ハ故ナク停船スルコトナキカ
- 二二、郵便用ノ船舶ニ對シテ特ニ避讓セシムヘシ
- 二三、法定傳染病患者屍体及病毒汚染ノ疑アル物件ヲ許可ナクシテ乗載スルコトナキカ

- 二四、解船及附屬器具ハ完全且ツ清潔ニナリ居ルカ
- 二五、開港ニ於テ許可ナク夜間帆走スルコトナキカ
- 二六、軍艦又ハ外國通航船ニ付營業スル解船ハ本取締ノ外税關監視部又ハ税關支署ニ往復共立寄ラシムヘシ
- 二七、指定解船ニシテ乗客又ハ荷主ヨリ賃錢ヲ請求スルモノナキカ

第四篇 風俗警察

第一 廣告物取締

參照

明治四十四年四月法律第七十號廣告物取締法同年十二月廳令第八十號廣告物取締法施行規則同訓令第四十八號同則取扱手續

- 一、左記各號ノ場所ニ廣告物ノ表示又ハ建設スルモノナキカ
 - イ、公園地
 - ロ、名勝地舊蹟地
 - ハ、社寺佛堂及其境内

二、許可ナクシテ左記各號ノ場所ニ廣告物ノ表示又ハ之ニ關スル物件ヲ建設スルモノナキカ

イ、市街地(街路取締規則施行地)

ロ、鐵道軌道沿線

ハ、海水浴場溫泉場

ニ、特ニ告示シタル場所

三、廣告物看板其他之ニ關スル物件ニシテ破損墜落顛仆其他危險ノ虞アルモノナキカ

四、廣告物看板其他ノ物件ニシテ文句繪畫色彩模様等公安若クハ風俗ヲ紊ル、虞アルモノナキカ特ニ左記各號ニ該當スルモノナキカ

イ、内外國ノ貴顯其他偉人ノ肖像ヲ繪キタルモノ

ロ、男女ヲ問ハズ袒裼裸躰トナリ又ハ股脚ヲ露ハシ其他風俗ヲ紊

ル狀ヲ繪キタルモノ

ハ、一見人ヲシテ殘忍悲慘ノ感其他惡感ヲ起サシムル狀ヲ繪キタルモノ

ニ、人ヲシテ迷信災禍ニ陥ラシメ易キ狀ヲ繪キタルモノ

五、自己ノ業務上ニ關シ店頭又ハ屋上ニ設置セル看板其他ノ廣告物

ニシテ前項ニ該當スルモノナキカ

六、其他一般廣告物ニシテ破損變形褪色汚損シ美觀又ハ風致ヲ害ス

ルモノナキカ

第二 形像取締

參照 明治三十三年五月内務省令第十八號形像取締規則

一、許可ナクシテ官有地及公衆ノ往來出入スル場所ニ人物其他ノ形像ヲ建設移轉改造又ハ除却スルモノナキカ

二、既設形像ニシテ破損崩壞顛倒其他危險ノ虞アルモノナキカ

三、考古ノ資料又ハ美術品トシテ特ニ保存セララル、形像ニシテ濫ニ

毀損又ハ滅却若クハ變更スルモノナキカ

第三 勳章記章褒章ノ佩用取締

參照

明治四十一年十二月勅令第二百九十二號勳章記章褒章佩用取締ニ關スル件大正三年三月勅令第十六號赤十字記章名稱等使用者處罰ノ件

一、勳章又ハ各種ノ記章褒章ヲ潜用スルモノナキカ

二、勳章記章ノ佩用ノ停止ニ違反スルモノナキカ

三、勳章記章褒章ニ類似シタル標章ヲ佩用スルモノナキカ

四、外國勳章記章ニ類似ノ標章ヲ佩用スルモノナキカ

五、檀ニ白地ニ赤十字ノ記章又ハ之ニ類似ノ記章ヲ使用スルモノナ

キカ

六、檀ニ「ジエネヴァ」十字ノ名稱又ハ類似ノ名稱ヲ使用スルモノナ

キカ

第四 僧侶托鉢者取締

參照

明治十四年八月內務省達甲第八號僧侶托鉢解禁ノ件同年同月同省乙第三十八號僧侶托鉢者心得ノ件

一、托鉢ハ一行三人以上十人以下ノモノ如法ノ行装ニシテ免許證ヲ

携帶セサル違反者ナキカ

二、托鉢ハ施者ノ請フモノナキニ人家ニ接近シ又ハ歩ヲ駐ムルコト

ナキカ

三、托鉢ハ午前七時ヨリ同十一時ヲ限リトス違反スルモノナキカ

第五 神社寺院佛堂等參拜料觀覽料金並寄附金募集

參照

明治三十一年七月內務省令第六號寺院佛堂等參拜料觀覽料寄附金募集ノ件大正二年四月內務省令第六號神社ノ創立移轉廢合參拜寄附金講社神社ニ關スル件同年十二月廳令第九十六號寄附其他募集ニ關スル件

一、寺院及佛堂ニシテ參拜料ヲ徵收スルモノナキカ

二、寺院及佛堂ニ於テ許可ヲ受ケス殿堂庭園什寶等ニ對シ觀覽料ヲ

徵シ觀覽セシムルモノナキカ

三、許可ヲ受ケス寺院祠宇佛堂其他宗教ノ宣布又ハ宗教上ノ儀式執

行ヲ目的トシテ寄附金ヲ募集シ又ハ負債ヲ募集セントスルモノナ

- 四、神社ニシテ無願創立移轉改造廢合等ヲナスモノナキカ
- 五、神社境内ニ於テ制札ニ違反スルモノナキカ
- 六、神社境内へ濫リニ碑表形像其他ノ建設物ヲ設置スルモノナキカ
- 七、神社ニ於テ參拜料ヲ徵收スルモノナキカ
- 八、許可ナクシテ神社ノ建造物寶物等ニ觀覽料ヲ徵シ觀覽セシムルモノナキカ
- 九、許可ヲ受ケス神社又ハ神社ノ爲メニ寄附金ヲ募集スルモノナキカ
- 一〇、神社ノ寄附募集者又ハ従事者ニシテ神社ノ尊嚴ヲ瀆シ其他不都合ノ行爲ヲナスモノナキカ
- 一一、許可ナクシテ神社ハ附屬講社其他ノ団体ヲ組織スルコトヲ得ス違反スルモノナキカ

一二、何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス許可ナクシテ寄附金募集ヲナスモノナキカ

一三、寄附金募集者ニシテ寄附ヲ強請シ又ハ不正ノ行爲ヲナスモノナキカ

一四、寄附募集者ニシテ許可條件ニ違反スルモノナキカ

第六 懸賞又ハ富籤類似射倅行爲取締

參照 明治四十二年八月内務省令第二十號懸賞又ハ富籤類似ノ件

一、懸賞又ハ富籤類似其他ノ射倅ノ方法ヲ用ヒ又ハ投票ノ募集行爲ニシテ公安又ハ風俗ヲ害スルノ虞アルモノナキカ

二、開業祝賣年始年末其他ノ商業賑ヒノ爲メ景品ヲ提供シ又ハ抽籤ノ方法ニヨリ一般ノ射倅心ヲ誘發セシメ又ハ利益ヲ壟斷シ多衆ニ損害ヲ蒙ラシムル等ノモノナキカ

三、景品又ハ抽籤等ニシテ不正ノ行爲ヲナシ又ハ詐偽的手段ヲ以テ

景品等ヲ授與スルモノナキカ
四、書畫會展覽會其他ノ美名ノ下ニ不正ノ利ヲ圖ルノ目的ヲ以テ懸賞又ハ富籤類似ノ業ヲナスモノナキカ

第七 貸座敷及娼妓

參照

明治三十三年十月内務省令第四十四號娼妓取締規則同年十一月廳令第九十九號貸座敷娼妓取締規則

一、營業者ニシテ公安ヲ害シ又ハ他人ニ名義ヲ藉シテ營業ヲナサシムルノ事實ナキカ

二、營業者ニシテ同一免許地域内ニ於テ宿屋業ヲ兼ヌルモノナキカ

三、營業者六ヶ月以内ニ開業セス又ハ一ヶ年以上休業シタルモノナ

キカ

四、營業用建物ニシテ使用認可後密ニ増築變更ヲナスモノナキカ

五、人目ヲ引クヘキ裝置ヲナシ又ハ娼妓ヲ店頭ニ座列セシムルコト

ナキカ

六、遊客人名簿ハ新調ノ都度所轄警察官署ノ檢印ヲ受ケ正確ニ記載

シ一ヶ年保存シアルカ

七、藝妓酌婦妓夫ヲ居住セシメ又ハ雇入若クハ解雇セルトキハ五日

内ニ届出ヲナシアルカ

八、營業者ハ左ノ各號ヲ遵守シアルカ

イ、客ノ需ナキ飲食物ヲ供シ又ハ之ヲ強ヒサルコト

ロ、店頭若クハ往來ニ於テ通行人ニ遊興ヲ勸メ又ハ廣告其他ノ方

法ヲ以テ遊興ヲ勸誘セサルコト

ハ、學校ノ徽章ヲ着ケタル學生生徒並ニ未成年者ヲ遊興セシメサ

ルコト

ニ、遊客ニ面會ヲ求ムルモノニ對シ之ヲ拒ミ又ハ陰蔽スル等ノ所

爲ナサハルコト

ホ、警察官ノ承認ヲ受ケス遊興費ノ抵償トシテ客ノ所持品ヲ領受

シ又ハ買取リ若クハ賣却質入ノ周旋ヲナサルコト
ヘ、娼妓又ハ酌婦ニ對シ餐費ヲ支出セシメサルコト

ト、妓夫以外ノモノヲシテ客ヲ接待又ハ記録會計ヲナサシメサル
コト

九、娼妓ニシテ登録濟ノ證書ヲ携帯セス客席ニ出ルコトナキカ

一〇、娼妓ニシテ許可ナク免許地域外ニ出テ又ハ演劇寄席其他ノ興

行場ニ出入スルモノナキカ

一一、娼妓ノ通信面接文書ヲ閱讀物件ノ所持購買其他ノ自由ヲ妨害

スルコトナキカ

一二、娼妓ニ對シ虐待ヲ加フルコトナキカ

十三、唾壺寢具消火器便所飲食器具等ニ就キテハ宿屋ノ部ヲ參照ス

六、藝妓酌婦取締規則

參照 明治三十九年三月藝妓酌婦取締規則

一、許可ヲ得ス藝妓酌婦ヲナスモノナキカ

二、藝妓酌婦ニシテ結核花柳病癩病「トラホーム」其他ノ傳染性ノ疾
病ニ罹リ居ラサルカ

三、十二才未滿ノ婦女ヲシテ藝妓ヲナサシムルモノナキカ

四、藝妓ニシテ宿屋ニ客ノ送迎ヲナシ又ハ宿屋ニ居住若クハ營業ス
ルモノナキカ

五、娼妓兼業者ニシテ貸坐敷外ニ居住スルモノナキカ

六、娼妓兼業ノ藝妓ニシテ免許地内ノ貸座敷以外ノ招キニ應スルモ
ノナキカ

七、酌婦ハ客席ニ於テ歌舞音曲ヲ爲サルカ

八、酌婦ニシテ遊藝稼人ヲ兼ヌルモノナキカ

九、藝妓酌婦ハ就業中許可證ヲ携帯シアルカ

一〇、藝妓酌婦ニシテ許可證ヲ他人ニ貸與スルコトナキカ
 一一、藝妓酌婦ニシテ濫リニ客ヲ誘引シ或ハ店頭又ハ街路ニ出テ通行人ニ遊興ヲ勸メ其他風俗ヲ紊ルノ行爲ヲナスモノナキカ

第九 妓夫取締

參照 明治四十一年四月廳令等三十七號妓夫取締規則

- 一、許可ヲ受ケス妓夫稼業ヲナスモノナキカ
- 二、妓夫ハ就業許可證ヲ携帶シアルカ
- 三、妓夫ハ客ノ需ナキ飲食物ヲ供シ又ハ之レヲ強ルコトナキカ
- 四、店頭及街路ニ出テ客ヲ誘引シ又ハ其他ノ方法ニヨリ遊興ヲ勸誘スルコトナキカ
- 五、學校ノ徽章ヲ着ケタル學生生徒又ハ未成年者ニ遊興ヲ勸誘スルコトナキカ
- 六、遊客ニ面會ヲ求メタルモノアルトキ之ヲ拒ミ又ハ陰蔽スルコト

ナキカ

七、遊客ヨリ遊興費ノ抵償トシテ所持品ヲ受取り又ハ賣却質入ノ周旋ヲナスモノナキカ

第十 料理屋飲食店

參照 明治三十九年三月廳令第二十七號料理屋飲食店取締規則同取扱手續

- 一、許可ヲ受ケス料理屋飲食店ヲ營ムモノナキカ
- 二、料理屋飲食店ニシテ宿屋業ヲナシ又ハ客ヲ宿泊セシムルコトナキカ
- 三、料理屋營業者ハ左ノ各號ヲ遵守シアルカ
 - イ、何等ノ名義ニ拘ラス藝妓又ハ酌婦以外ノ婦女ヲ客席ニ待セシメサルコト
 - ロ、言語動作ヲ以テ客ヲ勸誘シ又ハ他人ヲシテ勸誘セシメサルコト

- ハ、店頭又ハ道路ヨリ見透シ得ヘキ場所ニ婦女ヲ列坐又ハ集合セシメサルコト
- ニ、客ノ求メナキ飲食物ヲ供シ又ハ藝妓幫間等ノ招致ヲ強ヒサルコト
- ホ、客ノ所持品ヲ抵償トシテ受領シ又ハ賣渡質入等ノ周旋ヲナサルコト
- ヘ、家族雇人寄寓者ニアラサル者ヲ宿泊セシメサルコト
- ト、結核花柳病癩病「トラホーム」其他傳染性疾患ヲシテ客用ニ供スル飲食物又ハ飲食用器具ノ取扱ヒ又ハ客ノ接待ヲナサシメサルコト
- 四、飲食店營業者ハ前項ノ外尙ホ左記各號ヲ遵守シアルカ
- イ、客席ニ於テ歌舞音曲ヲナシ又ハ爲サシメサルコト
- ロ、藝妓又ハ酌婦ヲ寄寓セシメ若クハ之等ヲシテ客席ニ入ラシメ

サルコト

- 一、營業者ハ屋内ノ要所ニ適當ノ個數消火器ヲ備ヘアルカ
- 六、洋燈ヲ使用スル者ハ金屬製油壺ヲ用キ居ルカ
- 七、客用便所洗面所浴場等ハ毎日掃除シ且ツ便所ニ防臭劑ヲ撒布シアルカ
- 八、便所及洗面所ニ括栓付用水器ヲ備付ケアルカ
- 九、唾壺ノ配置及消毒ハ完全ニ實行シアルカ
- 一〇、煙筒及火焚場等危険ノ虞レナキカ

第十一 劇場取締

參照 明治二十二年一月劇場取締規則

- 一、許可ヲ受ケタル劇場建設物ヲ密カニ増築變更又ハ改造スルコトナキカ
- 二、劇場ノ構造ニ付テハ左記各號ニ注意スヘシ

- 一、イ、構造堅牢ニシテ危険ノ個所ナキカ
 - ロ、木戸ノ扉ハ外開トナシアルカ
 - ハ、客席ニ接シ二個ノ非常口ヲ設ケ且ツ完全ナルカ
 - ニ、點火ノ場所ハ不燃質物ヲ以テ裝置シアルカ
 - ホ、周圍ハ各五間以上ノ火除地アルカ
 - ヘ、便所ハ清潔ニ掃除シアルカ
 - 三、演劇ニシテ公安ヲ害シ又ハ猥褻ニ涉リ風俗ヲ紊スノ虞アラサルカ
 - 四、觀客ヲ樂屋ニ入レ又ハ俳優ニシテ客席ニ入ルコトナキカ
 - 五、興行時間ハ午後十二時ヲ過スコトナキカ
 - 六、定員外ノ觀客ヲ高棧敷ニ入ル、コトナキカ
- 第十二 寄席
- 一、寄席ニ於テ演劇又ハ演劇類似ノ興行ヲナスコトナキカ

- 二、公安ヲ害シ又ハ風俗ヲ紊ルノ演劇ヲナスコトナキカ
- 三、客席ヲ暗黒ニシ又ハ客ヲ樂屋ニ入ランムルコトナキカ
- 四、演藝者ノ届出ヲナサ、ルモノナキカ
- 五、定員外ノ客ヲ入ルコトナキカ
- 六、席場及便所ハ清潔ニナシアルカ
- 七、夜間十二時後ニ演藝ヲナヲコトナキカ
- 八、活動寫眞興行ニ付テハ特ニ左記各號ヲ注意スヘシ
- イ、姦淫猥褻戀愛慘虐其他青春男女ノ劣情ヲ挑發セシムルノ虞アル映畫
- ロ、道義ニ背戾シ又ハ小兒ノ惡戯ヲ助長セシムルノ虞アル映畫
- ハ、犯罪行為ノ手段ヲ模倣セシムル嫌アル映畫
- ニ、時事ヲ諷刺シ又ハ公安風俗ヲ害シ又ハ紊ルノ虞レアル映畫
- ホ、其他映畫ノ禁止又ハ停止セラレタルモノヲ再ヒ映寫スルコト

第十三 諸興行取締

參照 明治二十二年廳令第五號諸興行取締規則

- 一、許可ヲ受ケス諸興行ヲナスモノナキカ
- 二、公安ヲ害シ風俗ヲ紊ルノ虞レアル興行ヲナスモノナキカ
- 三、觀客ヲ藝人ノ休息所ニ入ラシムルモノナキカ
- 四、觀世物興行ニシテ看板ト實物ト符合セサルモノナキカ
- 五、禽獸蛇蝎ノ類ヲ生存ノ儘截斷シ又ハ噬嚙シ其ノ殘酷ノ所業ヲナス興行ヲナスモノナキカ
- 六、不具者ヲ觀世物トスルモノナキカ
- 七、夜間十二時後ニ興行ヲナスモノナキカ

第十四 遊技場取締

參照 明治二十八年廳令第二十六號遊技場取締規則

- 一、許可ヲ受ケス遊技場ヲ設ケ營業ヲナスモノナキカ
- 二、大弓場半弓場及室内射的場ノ構造ハ左記各號ニ適合シアルカ
 - イ、大弓場及半弓場ノ射塚ハ高サ八尺以上幅一丈以上ノ石垣又ハ厚壁土俵ヲ以テ構造シ射道ノ上部及兩側ハ危險ヲ防クニ足ル適當ノ設備アルコト
 - ロ、室内射的場ノ射塚ハ高サ五尺以上幅九尺以上ニシテ土壁厚板若クハ鐵板ヲ以テシ兩側ニハ危險ヲ防クニ足ル設備構造アルコト
- 三、前項ノ構造ニシテ破損又ハ其他ノ事情ニヨリ危險ヲ醸スノ虞レアルモノアキカ
- 三、遊戯場ニ於テハ左記各號ヲ遵守シアルカ
 - イ、白痴瘋癲者及酩酊者ニ遊技ヲナサシメサルコト
 - ロ、開場時日ハ日出ヨリ午後十二時ヲ限リトスルコト

- ハ、賭博ニ類スル所業ヲ爲シ又ハ爲サシメサルコト
- ニ、通行人ニ遊技ヲ勸メ又ハ客ノ求ナキ飲食物ヲ供セサルコト
- 三、ホ、客ヲ宿泊セシメサルコト
- ヘ、猥褻ノ所業ヲ爲シ又ハ爲サシメサルコト
- 四、馬又ハ弓銃ヲ使用スル遊技場ハ狂暴ナル馬匹若クハ破損シタル銃器弓矢ヲ使用スルコトナキカ
- 五、御術又ハ射法ニ慣レサル考ニ其方法ヲ教示セサルコトナキカ
- 六、遊技料ハ場内見易キ場所ニ掲示シアルカ
- 七、婦女ヲ雇入レ又ハ同居セシメ届出ヲナサ、ルモノナキカ

第五編 衛生警察

第一 牛乳營業取締

參照 明治三十三年四月内務省令第十五號明治四十四年四月廳令第四十號 牛乳營業取締細則

- 一、認可ヲ受ケスシテ牛乳乳製品ノ製造又ハ搾取業ヲナスモノナキカ
- 二、疾病ニ罹カリ又ハ劇藥毒藥服用中若クハ分娩後七日以内ノ乳牛ヨリ搾取セルモノナキカ
- 三、牛乳又ハ乳製品ノ容器又ハ量器ニシテ亞鉛、銅、黃銅、有害釉藥ヲ塗布セル焼付不良ノ陶器又ハ含鉛珪瑯ヲ塗布セル鐵材ヲ使用スルモノナキカ
- 四、容器ニ全乳又ハ脱脂乳ノ區別ヲ記入シアルカ
- 五、牛舎搾取場牛乳取扱場乳製品取扱場其他容器ノ類ハ清潔ニナリアルカ
- 六、傳染性疾患患者ニシテ牛乳又ハ乳製品ノ搾取製造其他取扱ニ従事スルモノナキカ
- 七、左記各號ニ該當スル牛乳又ハ乳製品ヲ販賣スルモノナキカ

- イ、腐敗セルモノ
- ロ、粘稠若クハ苦味ナルモノ
- 六、藍色赤色其他異常ノ色ヲ呈スルモノ
- ニ、他物ヲ混合シタルモノ
- ホ、不適法ノ容器ヲ用キタルモノ
- 八、病牛ニ付シタル耳環ハ異常ナキカ
- 九、傳染性ノ病牛ハ隔離シアルカ
- 一〇、牛籍簿ハ完全ニ整理シアルカ
- 一一、牛乳請賣業者相當届出ヲナシアルカ
- 一二、牛乳配達人ハ木札ヲ携帯シ居ルカ
- 一三、認可ヲ受ケシステ隔離中ノ病牛ヲ他ニ移轉シ又ハ屠殺スルコトナキカ

第二、冰雪營業取締

- 一、認可ヲ受シテ冰雪ヲ採收製造又ハ販賣ヲナスモノナキカ
- 二、冰雪採取場製造場及貯藏場ヲ許可ナク變更セルコトナキカ
- 三、飲食用冰雪ト非飲食用冰雪トヲ同一貯藏場ニ貯藏スルコトナキカ
- 四、水池ハ採用毎ニ殘水ヲ排除シ洗滌スルカ

第三、清涼飲料水取締

(明治三十三年六月内務省令第三十號清涼飲料水營業取締規則) (明治四十年令第九十號清涼飲料水營業取締規則)

- 一、認可ヲ受ケス清涼飲料水ヲ製造スルモノナキカ
- 二、調製器ノ容器又ハ量器ニ銅鉛又ハ其合金ヲ使用シアラサルカ
- 三、左記各號ノ清涼飲料水ヲ販賣又ハ陳列貯藏スルモノナキカ
- イ、溷濁又ハ變敗シタルモノ
- ロ、沈澱物又ハ固形ノ夾雜物アルモノ
- ハ、鹽酸硝酸及硫酸其他遊離鑛酸ヲ含有スルモノ

- ニ、有害性芳香質ヲ含有シ又ハ色素ヲ含有スルモノ
- ホ、防腐劑ヲ含有スルモノ
- ヘ、「サツカリン」又ハ人工甘味質ヲ含有スルモノ
- 四、許可ナクシテ「ラー」色素ヲ使用スルモノナキカ
- 五、許可ナクシテ容器ニ封緘ヲ施サスシテ販賣スルモノナキカ
- 六、製造場調製器容器量器及清涼飲料水ヲ取扱フ場所ハ清潔ニナシアルカ
- 七、傳染性疾患患者ヲシテ調製又ハ小分ヲナサシメ或ハ製造場内ニ立

入ラシムルコトナキカ

第四 賣肉營業取締 (大正二年六月廳令第五十
二號賣肉營業取締規則)

- 一、許可ヲ受ケス食用ニ供スヘキ獸肉ヲ販賣スルモノナキカ
- 二、左記各號ノ獸肉ヲ販賣スルモノナキカ
- 一イ、牛馬羊豚ニシテ検査ノ證印ナキモノ

一ロ、毒殺病死若ハ死因不明ノ野獸

ハ、腐敗ニ傾キタルモノ

三、獸名ヲ詐稱シ又ハ購買者ノ承諾ナク異種ノ肉類ヲ混合シテ販賣スルモノナキカ

四、馬肉ト他ノ獸肉ト同一置場ニ貯藏スルコトナキカ

五、馬肉置場ニハ其標示ヲナシアルカ

六、獸肉ノ運搬器行人ノ容器ニハ覆蓋ヲ設ケアルカ

七、營業者ニ付左記各號ノ事項ヲ注意スヘシ

イ、賣肉ハ塵埃ノ附着昆蟲及鼠族類ノ接觸ヲ防ク裝置ヲナシアルカ

ロ、屠畜ノ頭部又ハ異様ノ臟器等ヲ公衆ノ目ニ觸ル、場所ニ露出ニセサルカ

ハ、賣肉ノ取扱ヲナスニハ常ニ手指ヲ清潔ニシ爪間ニ污垢ヲ止ム

ヘカラス

ニ、賣肉取扱者ハ清潔ナル白布ヲ用キアルカ
ホ、店舗ハ常ニ清潔ニ爲シ塵埃ノ飛散又ハ不潔ニナリ易キ他物ヲ
置クコトナキカ

ヘ、使用器具ハ屢々熱湯ヲ以テ洗滌シ常ニ清潔ニナシアルカ
ト、賣肉包皮類ハ清潔ナル布片ニテ使用ノ際擦拭スルコトヲ怠ル
コトナキカ

チ、骨其他不用ノ部分ハ一定ノ容器ニ蒐集シアルカ
リ、行商ノ際ハ木札ヲ携帯シ又ハ携帯セシメアルカ

八、斃獸取扱又ハ解体業及其ノ家族使用人並ニ野犬撲殺人等ニシテ
密ニ賣肉業ヲナスモノナキカ

第五 化製場取締

(大正二年十二月廳令第九
十四號化製場取締規則)

一、許可ヲ受ケス化製場ヲ設置スルモノナキカ

二、検査ヲ受ケスシテ化製場ヲ使用スルコトナキカ

三、許可ナク構造又ハ位置ヲ變更スルモノナキカ

四、轉居改氏名廢業又ハ一ヶ月以上ノ休業ノ届出ヲ怠ルモノナキカ

五、損壞若クハ腐朽シ修繕ノ必要アラサルカ

六、場内ハ汚物ノ停滯ナク常ニ清潔ニナシアルカ

第六 屠場取締

(明治三十九年四月法律第六十二號屠場法同年六月内務省令
第十六號同法施行規則同年十月廳令第九號同法施行細則)

一、許可ナク屠場ヲ設置スルモノナキカ

二、許可ナク屠場ノ改築若クハ變更ヲナスモノナキカ

三、屠場ニ於テ屠畜検査員ノ検査ヲ經サル豨畜ヲ屠殺解体スルモノ
ナキカ

四、検査員ノ検査ヲ經サル屠肉内臓ヲ場外ニ搬出スルモノナキカ

五、屠場使用料及屠殺料ハ定額以外ニ請求スルコトナキカ

- 六、届出ヲナサスシテ屠畜業ヲナスモノナキカ
- 七、屠場ニ於テ斃獸ノ解体ヲナシ又ハ其肉類ヲ取扱フモノナキカ
- 八、屠場ハ清潔ニナシアルカ
- 九、屠室繫留所生体検査所其他ノ器具ハ其都度洗滌シ常ニ清潔ニナシアルカ

一〇、傳染性疾患患者ヲシテ屠殺又ハ解体ニ從事セシムルモノナキカ

一一、病畜ヲ病畜室ノ外ニ於テ屠殺解体スルモノナキカ

第七 斃獸捨場收締 (明治三十二年四月廳令第三十二號斃獸捨場取締規則)

- 一、斃獸捨場外ニ於テ斃獸ノ解体焼却又ハ埋却スルモノナキカ
- 二、斃獸捨場ノ境界又ハ標木ノ破損又ハ滅却シタルモノナキカ
- 三、斃獸ヲ包裹シ汚物ノ脱漏ヲ防ク装置ヲナサスシテ運搬スルモノナキカ
- 四、斃獸ノ肉ヲ食用ニ販賣スルモノナキカ

第八 嚙衣及産穢物埋納取締規則

(明治三十二年四月廳令第三十一號嚙衣及産穢物埋納取締規則)

- 一、胞衣又ハ産穢物ヲ埋納又ハ焼却スルモノナキカ
- 二、埋納場ノ木柵塙又ハ土堤等ニシテ破損欠潰其他修繕ヲ要スルモノナキカ

三、埋納場ノ標木ヲ滅却又ハ除去スルモノナキカ

四、胞衣及産穢物ヲ不滲透質ノ容器ニ容レシテ埋納スルモノナキカ

第九 肥料溜取締規則 (明治三十六年四月廳令第六十六號肥料溜取締規則)

- 一、認可ヲ受ケスシテ肥料溜ヲ設置スルモノナキカ
- 二、検査ヲ受ケスシテ肥料溜ヲ使用スルモノナキカ
- 三、認可ヲ受ケス肥料溜ヲ變更スルモノナキカ

第十 鍼術灸術營業取締 (明治四十四年内務省令第十號鍼術灸術營業取締規則)

- 一、免許鑑札ヲ携帯シアルカ
- 二、營業者ハ一人毎ニ施術前手指鉞及局部ヲ消毒スルカ
- 三、營業者ニシテ流派流名學校講習所名ノ外業務上ニ關スル技能施行方法又ハ履歷等ノ廣告ヲ標示スルモノナキカ
- 四、營業者ニシテ瀉血切開其他ノ外科手術ヲ行フモノナキカ
- 五、營業者ニシテ電氣烙鐵ノ類ヲ用ヒ又ハ藥品ヲ投與又ハ指示スルモノナキカ
- 六、濫リニ施術ヲ勸メ又ハ被術者ノ意ニ反シテ施行ヲナスモノナキカ
- 七、鑑札面ノ異動ハ正當ニ届出ヲ怠ルコトナキカ
- 八、廢業又ハ他管内ニ轉居シテ鑑札ヲ返納セサルモノナキカ
- 九、犯罪又ハ不正ノ行爲ヲナスモノナキカ

第十一 按摩術營業取締 (明治四十四年八月内務省令 第十號按摩術營業取締規則)

- 一、免許鑑札ヲ携帯シアルカ
 - 二、盲目ニアラスシテ乙種免許鑑札ヲ携帯シ居ル者ナキカ
 - 三、免許鑑札面ノ異動ハ相當届出ヲナシアルカ
 - 四、營業者ニシテ業務上ノ技能ノ施術方法又ハ經歷ニ關スル廣告ヲ表示スルモノナキカ
 - 五、營業者ニシテ精神病者又ハ傳染性ノ疾患アルモノナキカ
 - 六、業務上不正行爲ヲナスモノナキカ
- 第十二 理髮營業取締 (大正四年一月聽令第一 號理髮營業取締規則)
- 一、無届營業ヲナスモノナキカ
 - 二、營業者又ハ従事人ニシテ精神病者癩癩又ハ結核癩黴毒疥癬「ト
ラホーム」其他傳染性疾患アルモノナキカ
 - 三、營業者ニ付左記各號ノ事項ヲ注意スヘシ
 - イ、營業場ヘ土足ノ儘出入シ又ハ出入セシムルコトナキカ

- ロ、營業場内ハ常ニ清潔ニナシアルカ
- ハ、毛髪ハ一定ノ容器ニ收メ散亂シアラサルカ
- ニ、就業中ハ清潔ナル白衣ヲ着シ顔面手術ノ際ハ呼吸器ヲ使用シアルカ
- ホ、客ノ需メナキニ耳道及鼻腔ヲ剃ルコトナキカ
- ヘ、鋏剃刀「バリカン」垢取刷毛其他營業用器具ハ一客毎ニ完全ニ消毒ヲナシ居ルカ
- ト、客用ノ被布、敷巾頸卷拭布ノ類ハ白布ニシテ且清潔ナルカ
- チ、頸卷及拭布ハ一旁毎ニ消毒ヲ完全ニナシ居ルカ
- リ、椅子、洗面器其他ノ物品ハ清潔ニナシアルカ
- ヌ、椅子ノ枕ハ清潔ナル白紙又ハ白布ヲ以テ一客毎ニ覆フコトヲ怠ルコトナキカ
- ル、湯又ハ水ハ清潔ナルカ剃毛用ノ石鹼ハ一客毎ニ新ラシキモノ

ヲ使用シアルカ

- 一、輕白粉三分ノ一以上硼酸末ヲ混和シタルモノヲ使用シアルカ
 - ワ、理髮料ハ營業場内見易キケ所ニ揭示シアルカ
 - 四、營業用ニ使用スル消毒藥及器具ハ完備シアルカ
 - 五、營業上使用スル器具及化粧品ニシテ衛生上危害ノ虞アルモノナキカ
 - 六、唾壺ノ配置及唾啖ノ消毒ハ完全ナルカ
- 第十三 飲料水營業取締(明治三十六年六月廳令第七十六號飲料水營業取締規則)
- 一、許可ヲ受ケス飲料水營業ヲナスモノナキカ
 - 二、水船ヲ使用スルトキハ船体船具ノ検査ヲ受ケアルカ
 - 三、水船ニハ甲板波除及覆蓋等完全ニ整備シ破損ノケ所ナキカ
 - 四、水船ニハ潮水汚水雨水其他汚穢物ノ混入ヲ防ク裝置完全ナルカ
 - 五、完全ナル唧筒ヲ備ヘアルカ

- 六、飲料水ノ配達容器ハ適當ナル覆蓋ヲ設ケアルカ
 - 七、水船唧筒ホース水桶其他ノ器具ハ毎日清潔ニ掃除シ破損ノケ所ハ修繕シアルカ
 - 八、水質不良ナル飲料水ヲ販賣スルモノナキカ
 - 九、汲取後三十六時間ヲ經過シタル飲料水ヲ販賣スルモノナキカ
 - 一〇、水船及汲取汲入其他運搬器具ハ定期検査ヲ受ケアルカ（年四回）
 - 一一、飲料水配達人ハ制規ノ木札ヲ携帯シアルカ
- 第十四 畜犬取締（明治二十一年十二月廳令第七十五號畜犬取締規則大正三年十二月廳令第八十號改正）
- 一、畜犬ニシテ畜主又ハ管理者ノ住所氏名ヲ記シタル頸環又ハ牌子ヲ附セサルモノナキカ
 - 二、警察官署ヨリ畜犬ノ鎖錮繫留若クハ口綱又ハ箝口具ノ施用ヲ命セラレ之レヲ怠ルモノナキカ

第十五 塵船取締規則

（明治四十一年一月廳令第一號塵船營業取締規則）

- 一、許可ヲ受ケス塵船營業ヲナスモノナキカ
- 二、營業者ニシテ船夫ヲ雇入レ警察官署ニ届出テ認可ヲ受ケサルモノナキカ
- 三、塵船ハ積入積卸又ハ運搬ノ際汚汁ノ漏洩棄却物ノ散亂脱落ヲ防クニ足ル構造装置ヲ施シアルカ
- 四、塵船ニハ制規ノ番號及號旗ヲ備ヘアルカ
- 五、塵船ニハ營業以外ノ物品又ハ人ヲ乗載運搬スルコトナキカ
- 六、塵船ニシテ正常事由ナリ艦船ノ要求ヲ拒ムコトナキカ
- 七、認可ヲ受ケス夜間從事スルコトナキカ
- 八、營業者ニシテ棄却物ノ焼却場又ハ投棄場ノ設置ナキモノナキカ
- 九、焼却場又ハ投棄場外ニ於テ焼却又ハ投棄スルコトナキカ
- 一〇、焼却場又ハ投棄場ハ検査ヲ受ケスシテ使用スルコトナキカ

三十五條第二百四十三條)

八、詐偽及恐喝ノ罪(但書ハ七ニ同シ)(第二百四十六條乃至第二百五十條)

九、横領ノ罪(但書ハ七ニ同シ)(第二百五十二條乃至第二百五十四條)

一〇、毀棄及隱匿ノ罪(第二百五十九條第二百六十一條第二百六十三條)

二、刑法中未遂罪ヲ罰スヘキ罪(刑法第四十三條第四十四條刑法施行法第三十二條參照)

一、内亂ニ關スル罪(第七十七條)

二、外患ニ關スル罪(第八十條乃至第八十六條)

三、逃走ニ關スル罪(第九十七條乃至第一百一條)

四、放火ニ關スル罪(第八八條第九九條第一項)

五、往來ヲ妨害スル罪(第二百二十四條第一項第二百五條第二百二十六條第一項第二項)

六、住居ヲ侵ス罪(第三百十條第三百十一條)

七、阿片煙ニ關スル罪(第三百三十六條乃至第四十條)

八、通貨偽造ニ關スル罪(第四百八條乃至第五十條)

九、文書偽造ノ罪(第一百五十七條第一百五十八條第一百六十一條)

一〇、有價證券偽造ノ罪(第一百六十三條)

一一、印章偽造ノ罪(第一百六十四條第二項第一百六十五條第二項第一百六十六條第二項第一百六十七條第二項)

一二、猥褻姦淫ノ罪(第七十六條乃至第七十八條)

一三、殺人罪(第九十九條第二百條第二百二條)

一四、墮胎罪(第二百五五條)

一五、脅迫罪(第二百二十三條)

一六、略取誘拐ノ罪(第二百二十四條乃至第二百二十七條)

一七、窃盜及強盜ノ罪(第二百三十五條第二百三十六條第二百三十八條乃至第二百四十一條)

一八、詐偽及恐喝ノ罪(第二百四十六條乃至第二百四十九條)

一九、舊刑法ノ重罪輕罪違警罪ト見做スヘキモノ(刑法施行法第二十九條第三十條第三十一條參照)

(イ) 死

(イ) 死

無期ノ懲役若クハ禁錮

短期一年以上ノ懲役若クハ禁錮

短期一年以下ノ懲役—重禁錮

短期一年以下ノ懲役—重禁錮

短期一年以下ノ懲役—重禁錮

罰金

(ハ) 拘

留

(違警罪)

六、科 料

料

(違警罪)

三四、舊刑法ノ重罪輕罪ノ處刑者ト見做スヘキモノ(刑法施行法第三十三條第三十四條第三十五條第三十六條參照)

(イ) 死刑、(ロ) 無期ノ懲役若クハ禁錮、(ハ) 六年以上ノ懲役若クハ禁錮(新法)、(ニ) 重罪(舊法)

以上ハ舊法ノ重罪處刑者ニ該當シ公權剝奪者トス

(イ) 六年未滿ノ懲役、(ロ) 六年未滿ノ禁錮、(ハ) 舊法ノ重禁錮、

(ニ) 舊法ノ輕禁錮、(ホ) 罰金、(ヘ) 禁錮(重輕ヲ分タス) 舊法

以上ハ舊法輕罪處刑者ニ該當シ公權停止者トス(但シ罰金ヲ除キ

刑ノ執行中)

五、公訴ノ時効成就期間(刑法施行法第三十八條刑事訴訟法

第八條參照)

二、死刑ニ該ル罪

十五年

十年

- 二、無期又ハ長期十年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ該ル罪 十年
- 三、長期十年未滿ノ懲役若クハ禁錮ニ該ル罪 七年
- 四、長期五年未滿ノ懲役又ハ禁錮若クハ罰金ニ該ル罪 三年
- 五、刑法第百八十五條ノ罪 一年
- 六、拘留又ハ科料ニ該ル罪 六ヶ月
- 六、刑ノ時効ハ刑ノ言渡確定シタル後左ノ期間内其ノ執行ヲ受ケサルニ因リ完成ス(刑法第三十二條參照)
- 一、死刑ハ 三十年
- 二、無期ノ懲役又ハ禁錮ハ 二十年
- 三、十年以上ノ懲役又ハ禁錮ハ 十五年
- 四、三年以上十年未滿ノ懲役又ハ禁錮ハ 十年
- 五、三年未滿ノ懲役又ハ禁錮 五年
- 六、罰金ハ 三年

七、拘留、科料及沒收ハ

七、區裁判所ノ刑事上ノ管轄(裁判所構成法第十六條參照)

第一拘留又ハ科料ニ該ル罪

第二有期ノ懲役若クハ禁錮又ハ罰金ニ該ル罪

但シ豫審ヲ經サルモノニ限ル(舊刑法ノ重罪ニ該當スル犯罪乃チ死刑無期ノ懲役又ハ禁錮短期一年以上懲役又ハ禁錮ノ罪ニ該ルモノハ地方裁判所ノ管轄トス) 刑法ニ規定セル罪左ノ如シ

- 一、皇室ニ對スル不敬ノ罪(第七十四條第七十六條)
- 二、國交ニ關スル罪(第九十一條乃至第九十四條)
- 三、公務ノ執行ヲ妨害スル罪(第九十五條第九十六條)
- 四、逃走ノ罪(第九十七條乃至第一百二條)
- 五、犯人藏匿及證憑煙滅ノ罪(第一百三條第一百四條)
- 六、騷擾ノ罪(第一百七條)

- 七、放火失火ノ罪（第百九條第二項第百十條第二項第百十一條乃至第百十三條第百十六條第百十八條）
- 八、溢水及利ニ關スル罪（第百十九條第百二十二條第百二十三條）
- 九、從來ヲ妨害スル罪（第百二十四條第百二十九條）
- 一〇、住居ヲ侵スノ罪（第百三十條乃至百三十二條）
- 一一、秘密ヲ侵スノ罪（第百三十二條第百三十四條）
- 一二、阿片煙ニ關スル罪（第百三十六條第百三十七條第百三十九條乃至第百四十一條）
- 一三、飲料水ニ關スル罪（第百四十二條乃至第百四十四條）
- 一四、通貨偽造ノ罪（第百五十條乃至第百五十三條）
- 一五、文書偽造ノ罪（第百九十五條第三項第百五十七條第百五十九條第百六十條）
- 一六、有價證券偽造ノ罪（第百六十二條第百六十三條）

- 一七、印章偽造ノ罪（第百六十六條第百六十七條）
- 一八、偽證ノ罪（第百六十九條）
- 一九、猥褻姦淫及重婚ノ罪（第百七十四條乃至第百七十六條第百八十二條乃至第百八十四條）
- 二〇、賭博及富籤ニ關スル罪（第百八十五條第百八十七條）
- 二一、禮拜所及墳墓ニ關スル罪（第百八十八條乃至第百九十二條）
- 二二、瀆職ノ罪（第百九十四條第百九十五條第百九十八條）
- 二三、殺人罪（第二百一一條第百二條）
- 二四、傷害ノ罪（第二百四條第百六條乃至第百八條）
- 二五、過失傷害ノ罪（第二百九條乃至百一十一條）
- 二六、隨胎ノ罪（第二百十二條第百十五條）
- 二七、遺棄ノ罪（第二百十七條第百十八條）
- 二八、逮捕及監禁ノ罪（第二百二十條）

- 二九、脅迫ノ罪(第二百二十二條第二百二十三條)
- 三〇、略取及誘拐ノ罪(第二百二十四條乃至第二百二十七條)
- 三一、名譽ニ對スル罪(第二百三十條)
- 三二、信用及業務ニ關スル罪(第二百三十三條第二百三十四條)
- 三三、竊盜及強盜豫備ニ關スル罪(第二百三十五條第二百三十七條)
- 三四、詐欺及恐喝ノ罪(第二百四十六條乃至第二百五十條)
- 三五、横領ノ罪(第二百五十二條第二百五十四條)
- 三六、贓物ニ關スル罪(第二百五十六條第二百五十七條)
- 三七、毀棄及隱匿ノ罪(第二百五十八條乃至第二百六十三條)
- 三八、現行犯及準現行犯ニ於ケル特別手續(刑事訴訟法第五十六條第六十一條參照)
- 一、現行犯トハ現ニ行ヒ又ハ現ニ行ヒ終リタル際ニ發覺シタル罪ヲ云フ(第五十六條)

二、準現行犯トハ左ノ各號ニ該當スル場合ヲ云フ(第五十七條)

- (イ)犯人トシテ一人又ハ數人ニ追呼セラレ、并
- (ロ)兇器、贓物其他ノ物件ヲ携帶シ又ハ身体被服ニ顯著ナル犯罪ノ痕跡アリテ犯人ト思料スヘキトキ
- (ハ)家牢内ニ於テ犯シタル罪ヲ檢證スル爲メ又ハ其ノ犯人ト思料スベキ者ヲ逮捕スルタメ戶主ヨリ官吏ニ其ノ處分ヲ求メタルトキ
- 三、司法警察官及ヒ巡查憲兵卒其ノ職務ヲ行フニ當リ重罪又ハ禁錮ノ刑ニ該ル可キ輕罪(乃チ新法ノ死刑無期又ハ有期ノ徵役禁錮ノ刑ニ該ル)現行犯(準現行犯ヲ含ム)アルコトヲ知リタルトキハ令狀ヲ待スシテ被告人ヲ逮捕スヘシ(第五十八條第一項)
- 四、罰金又ハ拘留科料ニ該ル現行犯アルコトヲ知リタルトキハ左記ノ場所ノ外引致スルコトヲ得ス此ノ場合ニハ被告人ノ氏名住所ヲ

確メ罰金ニ付テハ檢事ニ拘留科料ニ付テハ警察署ニ告發ノ手續ヲ
 ナスヘキモノトス
 イ 其ノ氏名住所分明ナラサルトキ
 ロ 逃走ヲナスノ恐アル場合
 五、巡查憲兵卒ニシテ被告人ヲ逮捕スルトキハ直チニ司法警察官ニ
 三引致シテ告發ノ手續ヲナスモノトス
 六、巡查憲兵卒一般人民ヨリ被告人ノ引渡ヲ受ケタルキハ其ノ引渡
 人ノ氏名職業住所及其ノ逮捕ノ事由ヲ聽取リ司法警察官ニ引致ス
 ヘキモノトス此ノ場合ニ於テハ引渡人ハ直チニ告訴又ハ告發ヲナ
 スヘキ筈ニ付其ノ旨ヲ告知スヘシ
 此ノ場合ニ於テ巡查憲兵卒ハ必要ヲ認メタルキハ引渡人ニ對シテ
 官署ニ同行ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス
 七、拘留科料ニ該ル罪ノ告發書様式(明治廿八年三月訓第九二號)

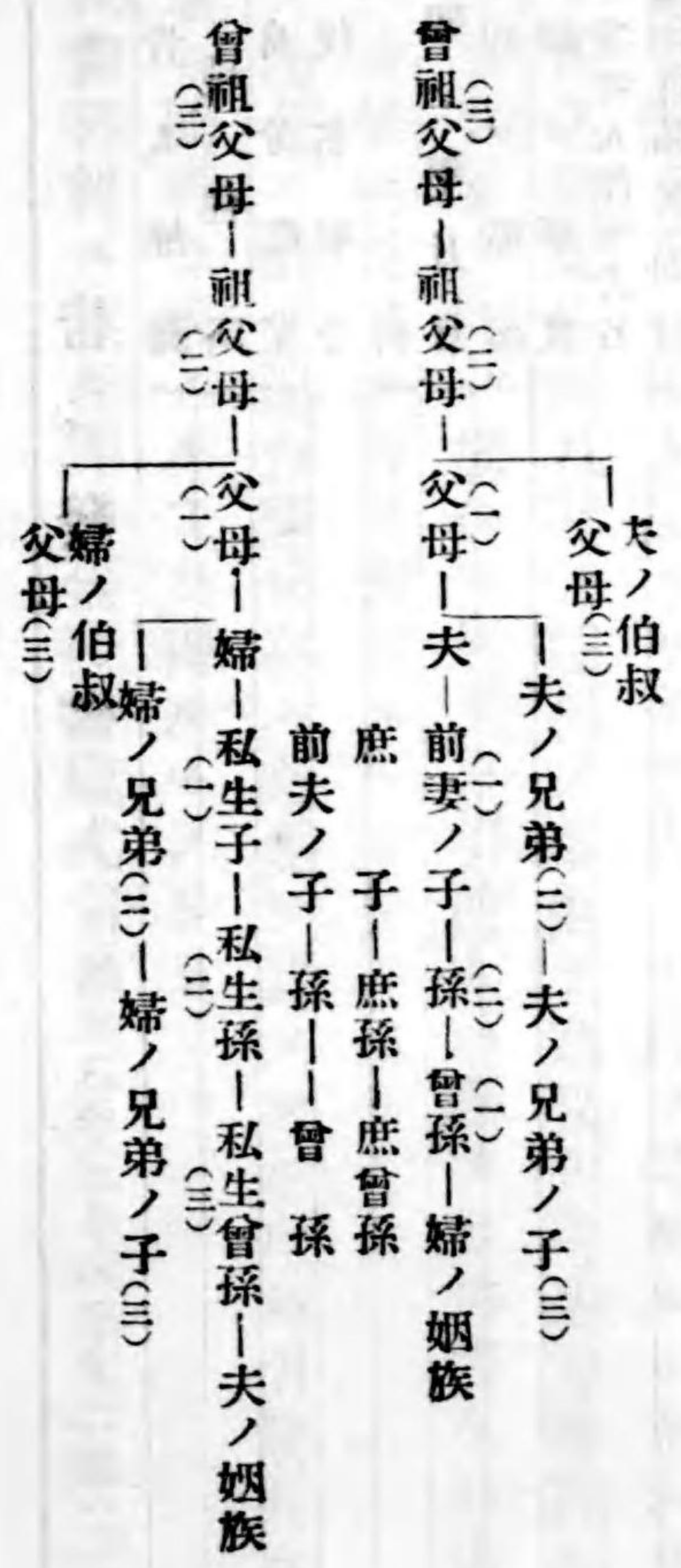
告發書

被告人原籍	
同現住所	
同身分職業	
同伐名年令	
前罪ノ年月日科	
犯罪ノ場所	
犯罪ノ事實	
證人參考人住所氏名	
證據物件品名箇數	
適用條項	
右何々ノ理由(假令ハ遁走潛匿ノ恐アリ又ハ住所氏名詳カナラサル等ノ數)ニ依リ引致告發ス	
年月日	
何警察署(分署)長	
官氏名 殿	
何警察署 詰	
巡查 何 某 印	

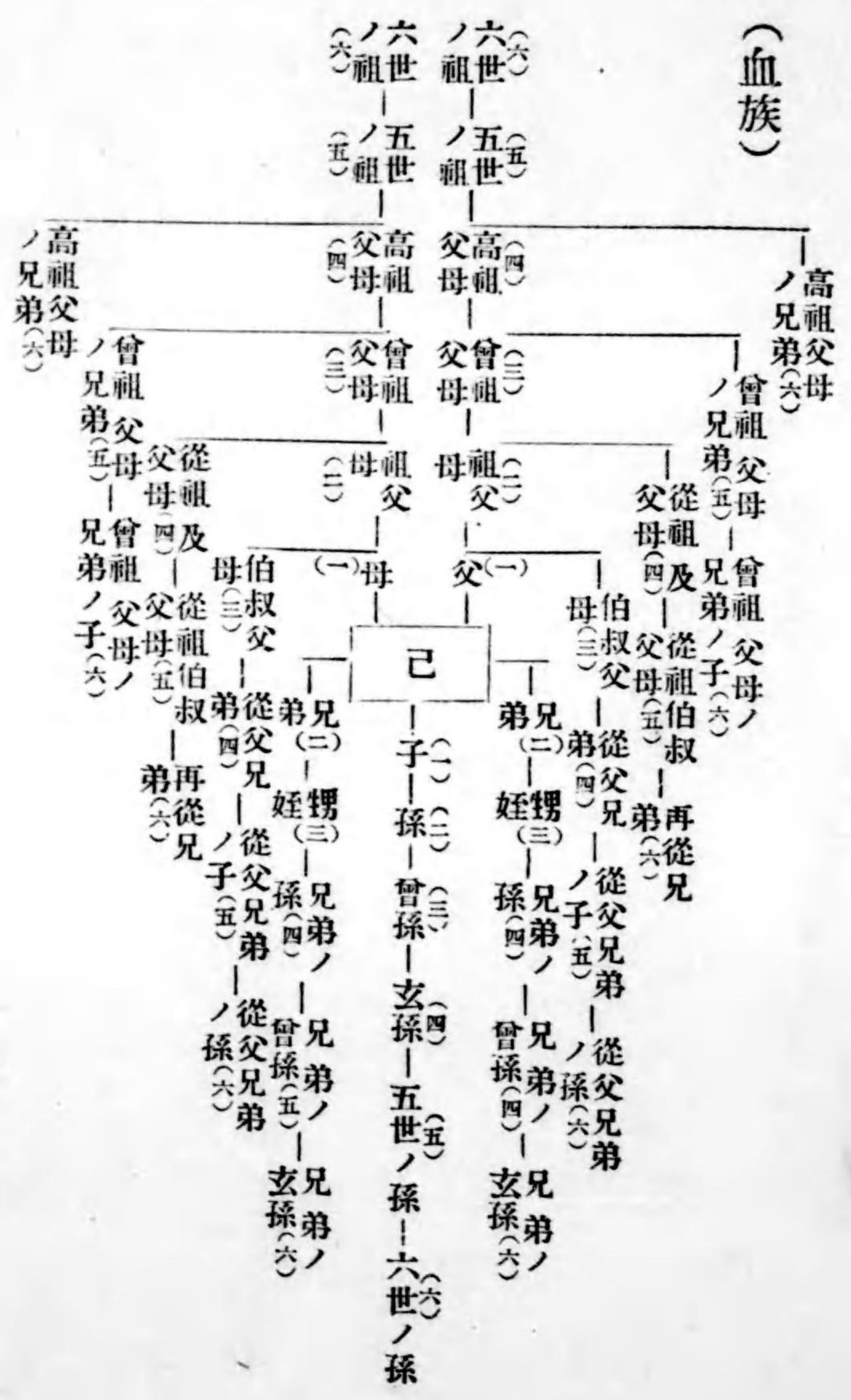
別表

民法第七百二十五條左ニ掲ケタル者ハ之ヲ親族トス

一、六親等内ノ血族
 二、配偶者
 三、三親等内ノ姻族
 第七百三十二條戸主ノ親屬ニシテ其家ニ在ル者及其配偶者ハ之ヲ家族トス戸主ノ變更アリタル場合ニ於テハ舊戸主及其家族ハ新戸主ノ家族トス



(血族)



法定傳染病ノ症狀特性早解

法定傳染病ノ症狀特性早解

第一 虎列刺

本病ノ潜伏期ハ一兩日ニシテ神心不快、食慾不進及輕店ノ下痢ヲ起シ(多クハ腹痛及裏急後重ナシ)次イテ眞性虎列刺トナルヲ常トス或ハ斯ノ如キ下痢ノ前驅スルコトナクシテ突然固有ノ症狀ヲ起スコトアリ

眞性虎列刺ニ變スルヤ劇烈ナル嘔吐及下痢ヲ催シ嘔吐ハ頻々トシテ來リ初メハ多少食物ノ殘渣ヲ混スルモ後ニハ水様ノ液ヲ吐出ス下痢ハ五、六回乃至二十回ニ及ヒ腹部ニハ雷鳴ヲ起ス糞便ハ最初黃色ヲ呈スルモ遂ニハ米泔汁様ニ變ス皮膚ハ皺縮瘦削シ之ヲ撮シ舉クルニ其皺壁久シク其形ヲ保チ眼窩ハ陷沒シ眼瞼ハ半開ス脈搏ハ微弱トナリ手足ハ厥冷シ口唇ハ蒼白色ヲ呈シ甚シキ煩渴ヲ訴ヘ聲音ハ嘶嘎シ

或ハ失音ス筋内殊ニ腓腸筋ニハ疼痛アル痙攣ヲ發ス期クノ如クシテ多クハ一日遅クモ二日ニテ死ス恢復スルコトハ甚稀ナリ

第二 赤痢

多クハ單純ナル下痢ヲ以テ始マリ或ハ急ニ高熱ヲ發シテ現ハル、コトアリ便ハ最初僅ニ血液、粘液若シクハ膿汁ヲ混スルモ數時間乃至數日後ハ全ク粘液血便又ハ膿性粘液血便ニ變ス
便通ハ頻數ニシテ一日數回乃至數十回以上ニ及フモ便量ハ僅少ニシテ一回半乃至一食匙一日千瓦ニ過キス排便時ニハ痙痛ヲ起シ裏急後重アリ

肛門ノ周圍ハ數十回ノ排便ノ爲糜爛シ又脱肛ヲ起スコトアリ熱ハ三十九度乃至四十度ニ昇リ腦症ヲ起スコトアルモ次イテ下降シ輕症ハ一週、中等症ハ三週ニシテ治スルモ重症ハ一ヶ月以上ニ亘リ最重症ニ至リテハ速ニ死シ又ハ慢性ニ變ジ衰弱シテ死スルコトアリ

リ

第三 腸室扶斯

潜伏期ハ約二週日ナリ前驅症狀トシテ全身倦怠、食慾不進、頭痛及四肢痛ヲ發スルコトアリ

本病ハ惡寒發熱ニ始マリ体温ハ除々ニ上昇シ一週日ヲ經テ漸ク三十九度乃至四十度ニ達ス患者頭痛及煩渴ヲ訴ヘ食思欠乏シ口内乾燥シ舌ハ苔ヲ帶フ大便ハ多クハ秘結ス

第二週ニハ熱ハ高度ニ稽留シ胸腹部ニ薺薇疹ヲ生ズ腹部稍ヤ膨滿シ壓迫ニヨリテ痛ヲ感ス便通ハ下痢又ハ秘結ス患者無慾ノ顔貌ヲ呈シ又腦症狀ヲ起スモノアリ

第三週ニ至レハ熱ハ甚シク弛張シ患者著シク衰弱ヲ來ス此期ハ最モ危険ニシテ特ニ腸出血及穿孔性腹膜炎ヲ起シテ死スルコトアリ
第四週ニハ諸症緩解シ熱ハ漸次下降シ徐々ニ恢復ス

第四　バラ室扶斯

一四六

本病ハ卒然惡寒若シクハ戰慄ヲ以テ發熱シ四十度内外ニ達ス熱ハ不規則ニシテ弛張ス頭痛頭重全身怠倦　思不進嘔吐下痢又ハ便秘ヲ伴フ經過ハ二―四週ナク其他ノ症狀ハ腸室扶斯ニ酷似ス

第五　發疹室扶斯

本病ハ突然惡寒稀ニ戰慄ヲ以テ發熱シ三十九度乃至四十一度ニ達シ脈搏細小頻數ニシテ百乃至百三十ヲ算ス頭痛、薦骨痛、關節痛、倦怠及甚シキ口渴ヲ訴ヘ顔面腫脹潮紅シ結膜充血ス

發病三―五日ニシテ胸腹部、背部及四肢ニ多數ノ發疹(薔薇疹)ヲ來ス然シ顔面ニ生スルコトハ非常ニ稀ナリ

第二週ノ初ニ至レハ疾患ハ頂點ニ達シ腦症狀甚シク神識昏朦シ喃喃譫語ス

熱ハ十日目乃至十二日頃ヨリ下降シ全經過ハ平均十二乃至十七日間

ナリ

第六　猩紅熱

本病ハ惡寒又ハ戰慄ヲ以テ三十九―四十度ノ熱發ヲ來シ頭痛嘔吐ヲ發シ咽頭ニ灼熱ノ感アリ

發病當日又ハ翌日ニ至リ猩紅熱ニ固有ノ發疹ヲ生ス最初頭部又ハ前胸部ニ發シ次テ一兩日中ニ他ノ胸部背部四肢等ニ蔓延ス顔面ニハ少シ疹ハ初メ鮮紅色ヲ呈シ漸次濃厚トナリテ遂ニ猩紅色トナル熱ハ其後二三日ニシテ下熱シ始メ一週後ニハ平溫ニ復ス發疹ハ數日ノ後消退シ次テ落屑ス

第七　痘　瘡

惡寒若クハ戰慄ヲ以テ發熱シ三十九度乃至四十度ニ達シ約三日間持續ス脈搏頻數、呼吸増加、頭痛、種々ノ腦症及口渴食思不進嘔心嘔吐ヲ發シ殊ニ注意スヘキハ劇甚ナル腰痛ナリ

一四七

二日前驅トシテ下腹部上腿ノ内面上擽ノ内面及腋窩ニ麻疹様或ハ猩紅熱様ノ發疹ヲ生スルモ暫時ニシテ消散ス

第四日ニ至リア熱度下降シテ眞ノ發疹ヲ現シ第六日ニ至レハ水疱ニ變シ其中央ニ陷凹(痘臍ト云フ)ヲ生シ第九日ニ至レハ膿疱ニ變シ膿疱ノ大サハ豌豆大ニシテ顔面頭部及ヒ手足ニ多シ熱ハ再ヒ上昇シ一般症狀増悪ス而シテ十二日ニ至レハ体温及症狀減退シ膿疱ハ或ハ破裂シ或ハ破裂セスシテ潮次乾燥シ遂ニ痂皮ニ變ス第十六日ヨリ痂皮ハ徐々ニ脱落ス而シテ全經過ハ四―六週ナリ

第八 實扶埤里亞

本病ハ熱發倦怠頭痛食思不進及嘔下困難ヲ以テ始マル咽頭ヲ檢スルニ扁桃腺腫脹充血シ白色ノ班點又ハ線狀ヲ認ム後ニ至レハ汚穢灰白色ノ被膜(實扶埤里亞義膜ト云フ)ヲ形成ス咽頭ニ疼痛アリ談話及嘔下ヲ妨ク音聲ハ咽頭腫脹ノ爲ニ變調シ咳嗽

ヲ發シ呼吸困難ヲ起ス

本病ノ經過ハ一―二週ナリ

第九 ペスト

ペストノ症型ヲ分チテ腺ペスト、肺ペスト及皮膚ペストノ三種トス一、腺ペスト ハ多クハ突然戰慄ヲ以テ高熱ヲ發シ精神溷濁ス同時ニ股腺、鼠蹊腺、腋窩腺及頸腺ハ腫大シテ胡桃大、桃大、手拳大トナリ劇シキ疼痛ヲ感ス多クハ數日乃一週日ニシテ死ス

二、肺ペスト 通例戰慄高熱頭痛眩暈嘔吐等ヲ以テ始マリ苦悶顔貌重舌性言語、胸部狹窄ノ感、胸痛アリ呼吸頻數ニシテ一分間ニ五十乃至七十ヲ數ヘ脉搏モ頻數ニシテ微弱ナリ第二日ヨリ咳嗽ヲ發シ咯痰ハ初メ粘液性ナルモ速ニ黃紅色或ハ暗紅色ニ變ス經過ハ速ニシテ三四日内ニ死亡ス

三、皮膚ペスト 皮膚ノ病毒ノ侵入部ハ通常何等ノ反應ヲ呈セスシ

テ腺ペストヲ起シヲ常トシルモ時トシテ侵入局部ニ於テ膿疱或ハ癰
ヲスルコトアリ之即チ皮膚ペストナリ

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 大正四年十二月十五日印刷 and 大正四年十二月二十日發行）

大正四年十二月十五日印刷
大正四年十二月二十日發行

北海道廳巡查教習所

札幌區北一條西三丁目二番地

印刷者 山 中 國 松

札幌區北一條西三丁目二番地

印刷所 文 榮 堂 活 版 所

第壹卷

第壹卷

中國

第壹卷

第壹卷

大五回

大五回

8/2
4/5

終